







参考書と問題集がドッキング!







本書の 特色と 使い方

- ▷ **参考書部分**で理解を深め、要点を覚えたらすぐに**問題集部分**で練習ができるので、効率よく勉強ができます。
- ▷ 1つの単元は、〈**教科書解説+カラー図解**〉と〈**基礎を固める問題+力をのばす問題**〉が2ページずつの見開き構成なので、たいへん勉強しやすくなっています。
- ▷ 学校のテスト範囲に合わせた〈**定期テスト予想問題**〉のページもあるので、テスト対策はバッチリです。

参考書部分	本文の解説	本書のメインで、教科書で学ぶことを 図解 をとり入れて、 要領よくまとめました 。大切な内容の中でも特に重要なことがらは ポイント にまとめました。
	関連事項の解説  もっとくわしく  得点アップのコツ  ここに注意  Q&A  おもしろ暗記法	教科書の理解を深めておきたいところや、まちがいがやすいところなどを、本文の横部分にまとめました。 ▷ 教科書だけでは理解しにくいところを、 くわしく解説 しています。 ▷ テストの得点アップに直接結びつく ような補足説明。 ▷ よくやるミスや気づきにくい点をアドバイス しています。 ▷ 疑問に思いがちな内容を「 質問・応答形式 」でとりあげています。 ▷ 用法・用語の ユニークな暗記法 を紹介しています。
	わかるせみ	新しい学習に入る前に読んでおくと、あとの内容の 理解力がアップ します。 

プラス

問題集部分	基礎を固める問題 HELP 	必ず理解しなければならない 基礎的な問題 です。全問答えられるようにしましょう。 ▷ 「 HELP 」は考え方、注意すべきところなどを示しました。 
	力をのばす問題 HELP 	定期テストに出る 実践的な問題 で構成しました。 ▷ 「 HELP 」は、その問題のヒントや解き方を示しました。 
	定期テスト予想問題	標準的な定期テスト対策問題で、80点以上が目標です。

もくじ



- ▷ 各单元ごとに、**基礎を固める問題** + **力をのばす問題**が入ります。
- ▷ <別冊**解答集**>必ずわかるくわしい解説つき
- ▷ **特別ひろくリスニングCD**つき
各§の解答文(→別冊にのっています)と定期テスト予想問題のリスニングテストが録音されています。

▶ わかるゼミ1 動詞は英文を支える命だ!	4
1 疑問文・否定文	6
2 現在進行形	10
3 数・量の表し方、冠詞	14
4 疑問詞の整理	18
5 代名詞	22
● 定期テスト予想問題1	26

▶ わかるゼミ2 過去・現在・未来	28
6 過去の文	30
7 未来の文	34
8 助動詞	38
● 定期テスト予想問題2	42

▶ わかるゼミ3 形容詞・副詞の働き	44
9 形容詞・副詞	46
10 比較	50
11 命令文: How [What] ~!	54
12 文構造の基本(1)	58
● 定期テスト予想問題3	62

▶ わかる世ミ4	現在完了ってなに？	64
13	現在完了(継続・経験)	66
14	現在完了(完了・結果)	70
15	現在完了と副詞	74
●	定期テスト予想問題4	78

▶ わかる世ミ5	動詞の変身——不定詞・動名詞	80
16	不定詞(1)	82
17	不定詞(2)	86
18	動名詞	90
●	定期テスト予想問題5	94

▶ わかる世ミ6	「～される」は受け身	96
19	受け身[受動態]	98
20	接続詞	102
21	前置詞	106
●	定期テスト予想問題6	110

▶ わかる世ミ7	S, V, O, Cと句・節	112
22	S + V + O[= that 節]	114
23	文構造の基本(2)	118
24	疑問詞 + to ~ ; tell + [人] + to ~	122
25	It is ~ to ... ; too ~ to ...	126
●	定期テスト予想問題7	130

▶ わかる世ミ8	名詞を修飾する語句と節	132
26	分詞の形容詞的用法	134
27	関係代名詞(主格)	138
28	関係代名詞(目的格)	142
29	関係代名詞のまとめ	146
30	間接疑問文；付加疑問文	150
●	定期テスト予想問題8	154

わかるゼミ1

動詞は英文を支える命だ！

英文法は英語の重要公式集

「英語の文法」なんて言うと、“なんだかむずかしそうだし、それに役に立つのかな？”って思っている人も多いようだね。でもね、本当は英文法ほど便利で役に立つものはないんだ。

いいかい、英文というのは単語や熟語(連語)の集まりだ。その単語や熟語の並べ方の重要なルールを集めたもの、それが英文法なんだ。つまり、

$$\text{〔単語・熟語〕} \times \text{英文法} = \text{英語の実力}$$

という式を思い浮かべればよい。

英語の動詞には2つの種類がある

英文の中で一番大事なのは**動詞**である。動詞とはrun(走る)、read(読む)、go(行く)、play(遊ぶ)などの動作や、have(持っている)、like(好む)などの状態を表す言葉だ。単語を訳してみて、最後を伸ばすと「ウ」の音になれば、その単語はたいてい動詞だ。

このrun、go、haveなどの動詞を**一般動詞**と言う。「一般」とくれば「一般でない」動詞もあるわけで、それを**be動詞**と言う。be動詞は「です」「～がある、いる」などと訳す。1人にいるときはbeのままだが、**I**といっしょになると**am**に化け、**you**だと**are**になり、**he**とくっつくと**is**になる。

でも、もとの形は1つで、訳し方や使い方は同じなんだ。



Q&A

Q 英語の勉強以外に、さらに英文法の勉強もしなければならぬのでしょうか。

A 英語と英文法は別のもではありません。ほんやりとわかった気分になっている重要事項を、きちんと整理して完全に理解することが英文法の学習目的です。

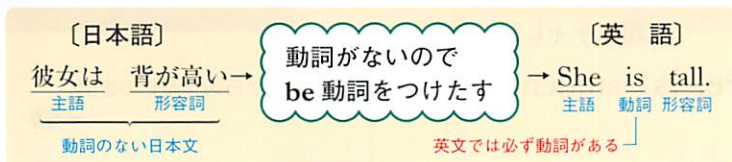
もっとくわしく

動詞のもとの形のことを、「**動詞の原形**」と言う。be動詞の原形は**be**であるので、am、are、isはbe動詞と呼ばれるのだ。一般動詞の原形は、3単現(⇒p.7)のsやesがつかない形と同じ形である。

原形	現在形
be	am
	are
	is
like	like
	likes

英文には必ず動詞がある

日本語では、英語の動詞にあたる言葉がない文も多い。だから「彼女は背が高い」という日本語を英語になおすときは注意が必要だ。



一般動詞があれば be 動詞は使えない

さて、次の英文はどこかまちがっている。どこだろうか？

(X) Is he study English? (彼は英語を勉強しますか)
be 動詞 一般動詞

この英文はきちんとした日本語に訳せるし、動詞だってある。じゃあ、なぜまちがいののだろうか。

それは、一般動詞と be 動詞を同時に使っているからなんだ。

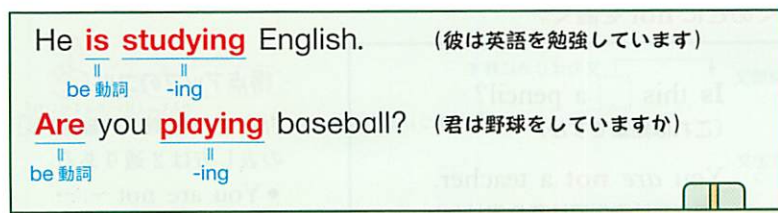
基本的に、一般動詞があれば be 動詞を使ってはいけない！

このルールがあるので、上の文の Is はダメ。正しくは次のようになる。

Does he study English?
これは動詞ではない



現在進行形 (be 動詞 + -ing) と動詞



現在進行形の文では、be 動詞と一般動詞が並んでいるように見える。だが、一般動詞には ing がついている。動詞に ing がくっついた studying や playing は、動詞の 1 つの形だが、自分だけで文を支える力がないので、be 動詞 (am, are, is など) に助けてもらって文を支えている。つまり、動詞の ing 形は、be 動詞の助けがなければ文を支えられないのだ。

だから、現在進行形の文では、be 動詞と動詞の ing 形を合わせた「be 動詞 + 動詞の ing 形」が動詞の働きをしていると考えよう。

ここに注意

英文でも、あいさつや会話文などでは動詞を使わないこともある。

しかし、英文法の基本を理解するには、「英文には必ず動詞がある」と覚えておくほうがずっとよい。

もつとくわしく

現在進行形は、be 動詞 + 動詞の ing 形だ。この動詞の ing 形は現在分詞と呼ばれ、動詞の 1 つの形だ。ing がついていても動詞なのだ。be 動詞はこの動詞を助ける役目をするだけで、「です」「～がある、いる」という動詞の意味はない。だから、進行形に使われる be 動詞は、ふつうの be 動詞ではなく、動詞を助ける助動詞(⇒ p.38)の働きをしていると言える。

1

疑問文・否定文



問題にチャレンジ

1 You and I (**am, are, is**) students.

あなたと私は学生です。

2 **That is** a new computer.

あれは新しいコンピューターです。

3 Junko **studies** English.

純子は英語を勉強します。

4 My brother **doesn't swim**.

私の弟は泳ぎません。

問 ()内から適するものを選び。

→ 1

問 疑問文にかえよ。

→ 2

問 疑問文にかえよ。

→ 4

問 can を使って文を書きかえよ。

→ 5

1 am, are, is の使い分け

be 動詞は、主語(～は、～が)によって am, are, is を使い分ける。

〔主語〕

I

〔be 動詞〕

→ **am**

he, she, it
人物、…

you とすべての複数

→ **are**

I, you 以外の単数

→ **is**



1 の答 → 主語が You and I で複数だから are。

2 be 動詞の疑問文・否定文

be 動詞の疑問文は **be 動詞** を文のはじめに置き、文の終わりに ? をつける。否定文は **be 動詞** のすぐあとに **not** を置く。

必修文例

This *is* a pencil.

(これは鉛筆です)

疑問文

↓ 文のはじめに移す

Is this a pencil?

(これは鉛筆ですか)

必ずつける

否定文

You *are* a teacher.

(あなたは先生です)

You *are not* a teacher.

(あなたは先生ではありません)

2 の答 → That が主語だから、正解は **Is that a new computer?** (あれは新しいコンピューターですか)

3 一般動詞の疑問文・否定文 — 3人称単数(現在)以外の文

一般動詞の現在の文で、主語が3人称単数以外なら、**Do** を文のはじめ(主語の前)に置いて疑問文をつくり、否定文にするには **do not** [**don't**] を動詞の前に置く。

短縮形

もっとくわしく

英語は相手があって使う言葉だから、話す人(= I)とそれを聞く人、つまり話し相手(= you)がいる。I と we を 1 人称、you を 2 人称、これら以外のものをすべて 3 人称と言う。

得点アップのコツ

否定文の短縮形[縮約形]の表し方は2通りある。

• You are not ~. →

You're not ~. /

You aren't ~.

• That is not ~. →

That's not ~. /

That isn't ~.

• No, it is not. → No,

it's not. / No, **it isn't**.

I am not ~. は **I'm not**

~. となる。am not の短縮形はない。

必修文例

← 一般動詞

You like soccer. (あなたはサッカーが好きです)

疑問文 → Do you like soccer?
文のはじめに Do を置く

否定文 → You **don't** like soccer.
動詞の前に don't



4 3人称単数(現在)の文

主語が3人称単数で現在の文の場合、動詞に **s** をつける。この **s** を「3単現の **s**」と言う。

You **like** tennis. ↔ He **likes** tennis.
3単現ではない 主語が3単現 3単現の s

ただし、次の2つの重要な例外がある。

- ポイント**
- ch, sh, s, x** で終わる → **es** をつける
 teach(教える) → teaches / wash(洗う) → washes /
 pass(通る) → passes
 - 「**子音字 + y**」で終わる動詞 → **y** を **i** にかえて **es** をつける
 fly(飛ぶ) → flies / cry(さけぶ) → cries / try(試みる) → tries

3単現の文の疑問文・否定文には、**do** の代わりに **does** を使う。
does があるとき、動詞に **s [es]** はつけない。

必修文例

He likes soccer.

疑問文 → Does he like soccer?
s は不要

否定文 → He **doesn't** like soccer.
does not s は不要

3の答 → Does Junko study English? (純子は英語を勉強しますか)

ここに注意 !

play は y で終わるが、y の前の a が**母音**(アイウエオの音)なので、そのまま s をつければよい。plaies ではなく plays だ。
 母音以外の音をすべて**子音**と言ひ、子音を表す文字を**子音字**と言う。

得点アップのコツ !

3単現の s, es のつけ方は名詞を複数形にするときの s, es のつけ方とほぼ同じ (⇒ p.15)。

5 助動詞 can のある文

can は動詞ではないが、動詞を助ける言葉なので**助動詞**と呼ばれ、「**～できる**」という意味を表す。can のある文では、主語が何であっても(たとえ3単現でも)動詞に **s** や **es** はつけない。疑問文・否定文でも can を使い、Can ~?, ~ cannot [can't] の形にする。

4の答 → My brother cannot [can't] swim.
 (私の弟は泳げません/泳ぐことができません)

	肯定文	疑問文	否定文
be 動詞の文	He is a doctor. You are a doctor.	Is he a doctor? Are you a doctor?	He isn't a doctor. You aren't a doctor.
can の文	He can swim. You can swim.	Can he swim? Can you swim?	He cannot swim. You cannot swim.
一般動詞の文 (can などの助動詞のない文)	He swims. You swim.	Does he swim? Do you swim?	He doesn't swim. You don't swim.

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.6

① 次の動詞の3人称単数現在の形を書きなさい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) eat _____ | (2) study _____ |
| (3) stop _____ | (4) look _____ |
| (5) make _____ | (6) wash _____ |
| (7) go _____ | (8) watch _____ |
| (9) speak _____ | (10) play _____ |

② 次の文の()内から正しいものを選びなさい。また、全文を日本語になおしなさい。

- (1) You (aren't, don't) like oolong tea.
()
- (2) Jack can (play, plays) the drums.
()
- (3) Do you (get, gets) up early?
()
- (4) Does he (get, gets) up early?
()
- (5) (Is, Does, Are) your father a police officer?
()

③ 次の文を、それぞれ疑問文・否定文に書きかえなさい。

- (1) They want a computer.
[疑問文] _____
[否定文] _____
- (2) She plants rice.
[疑問文] _____
[否定文] _____
- (3) It is a digital camera.
[疑問文] _____
[否定文] _____
- (4) The French man can play soccer well.
[疑問文] _____
[否定文] _____

HELP

① そのままsをつければよい動詞と、そうでない動詞がある。

② (1) like は一般動詞。oolong [ú:lò(:)ŋ] tea は「ウーロン茶」。

(2) 助動詞のあとの動詞にはsやesをつけない。

(3)(4) get up 「起きる」
early 「早く」

(5) 動詞がないから動詞を加える必要がある。

Doesは動詞ではないことに注意。

police officer [pəli:s
ɔ(:)fisə] ポリース オ(ー)
フィサー] は police(警察)
+ officer(役人)で、「警察官」。

③ 否定文は次のように短縮形を使うのがふつう。

do not → don't
does not → doesn't
cannot → can't
is not → isn't
are not → aren't

(3) digital [dídʒɪtl] は「デジタル(式)の」という意味。

単語

plant [plænt]

～を植える

rice [raɪs] 米

French [frentʃ]

フランス人[語]

フランス(人[語])の

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.6

1 次の疑問文に対する答えを、ア～カから選びなさい。

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| (1) Is he a doctor? | ア Yes, I am. |
| (2) Does she remember Makoto? | イ Yes, I do. |
| (3) Can she drive a car? | ウ No, she doesn't. |
| (4) Are you a student? | エ Yes, he does. |
| (5) Do you cook dinner? | オ No, he isn't. |
| | カ Yes, she can. |

2 次の英文にはまちがいがあります。その部分をなおして、正しい文に書きかえなさい。ただし、太字の部分は正しいものとします。

(1) Are you **send** e-mail?

(2) That dolphin **can** swims fast.

(3) A dog does **can** swim.

(4) Do she **kind to** you?

3 日本文の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。ただし、各組とも不要な語句が1つずつあります。

(1) 彼は音楽が好きですか。

(like, likes, does, music, he)?

(2) 私の兄はコンピューターで勉強します。

(study, studies, with, my brother, his computer).

(3) マイクは私の質問に答えることができますか。

(answer, answers, questions, my, Mike, can)?

HELP



① 各疑問文の文のはじめにある語に着目すること。(2) remember [riméməbər]「～を覚えている」
(3) drive [draiv]「(車を)運転する」

② (1) send「送る」(2) dolphin [dólfín]「イルカ」(4) kind(親切的)は動詞ではない。

③ (2)「子音字 + y」で終わる動詞は、**y**を**i**にかえて**es**をつける。**with**～「～で、～を使って」、
computer「コンピューター」

2

現在進行形



問題にチャレンジ

- 1 I **study** Chinese.
私は中国語を勉強します。
- 2 My father **washes** a car.
私の父は車を洗います。
- 3 You **use** this computer.
あなたはこのコンピューターを使います。
- 4 **Does** she **work** on the farm?
彼女は農場で働きますか。

問 現在進行形の文にし、日本語になおせ。 → 1

問 現在進行形の文にし、日本語になおせ。 → 2

問 現在進行形の文にせよ。 → 2

問 now をつけて現在進行形の文にせよ。 → 3

1 「今していること」は現在進行形

I play tennis. (私はテニスをします)では、「私」がある程度ひんばんに「テニスをする」人であることはわかるが、その人が「今」テニスをしているのかどうかはわからない。

ところが、play を am playing にかえて I **am playing** tennis. とすると、「私はテニスをしているところです」の意味になり、今テニスコートでラケットを持ち、ボールを打っている状態を表す。

このように現在進行中の動作を表すには、

現在進行形「**be 動詞+動詞の ing 形**」

を使う。

ここに注意

もともと「～している」という意味を持つ動詞は進行形にしない。

live (住んでいる)

know (知っている)

have (持っている)

like (気に入っている)

などは現在形のまま、動作・状態の継続を表す。

進行形(現在進行形)の be 動詞は、主語によって am, are, is を使い分ける。

I	am
You, They	are
He, She, It	is

だから、**be 動詞**と書いてあったら、「**am, are, is**」のどれかを使うことだな」と考えてほしい。



現在進行形 → **be 動詞(is, am, are) + 動詞の ing 形**
「～している【ところです】」

1 の答 → I **am studying** Chinese. (私は中国語を勉強しているところです)
→ study を am studying にする。

2 ing のつけ方

たいていは、**動詞の原形**に **ing** をつけるだけでよい。3 単現の s や es がついているときは、必ずはずしてから **ing** をつけること。

You eat. → You are **eating**. [そのまま ing をつける]

She goes. → She is **going**. [es をとって ing をつける]

ただし、次の場合は例外だ。

ポイント

① 発音しない e で終わる動詞 → e をとって ing をつける

make → making つくる	take → taking とる	use → using 使う
come → coming 来る	arrive → arriving 着く	

② 「1 母音字 + 1 子音字」で終わる動詞

→ 子音字を重ねて ing をつける

sit → sitting すわる	swim → swimming 泳ぐ
get → getting 得る	stop → stopping とまる

2の答 → My father **is washing** a car. (私の父は車を洗っているところです) → washes の原形 **wash** に ing をつける。

3の答 → You **are using** this computer. (あなたはこのコンピューターを使っているところです) → use の **e** をとって **ing** をつける。

3 進行形の否定文・疑問文・答えの文

進行形の文には必ず be 動詞がある。これを使って、否定文・疑問文や答えの文をつくれればよい。

- 否定文は **be 動詞のあとに not** を置く
- 疑問文は **be 動詞を主語の前に出す**

必修文例

- He is reading a book. (彼は本を読んでいます)
- 〔否定文〕 He **isn't** reading a book. (彼は本を読んでいません)
- 〔疑問文〕 **Is** he reading a book? (彼は本を読んでいますか)
- ↳〔答えの文〕 Yes, he **is**. / No, he **isn't** [**is not**].
(はい、読んでいます / いいえ、読んでいません)

4の答 → **Is she working** on the farm now? (彼女は今農場で働いているところですか) → Does を Is に、work を working にする。

4 恐怖の“進行形病”にかからないために

- (X) I **am go** to school.
- (X) **Is he study** English?

be 動詞と同時に使えるのは**動詞の ing 形**だ。go や study のような動詞の原形[現在形]を同時に使うことはできない。だから、I am go は I am **going** (または I go) が、Is he study は Is he **studying** (または Does he study) が正しいのだ。

得点アップのコツ

ing のつけ方には、次のような場合もある。

ie で終わる動詞は **ie** を **y** にかえて **ing** をつける。

lie → **lying**

うそをつく、横たわる

die → **dying**

死ぬ

ここに注意

進行形の文では、**Do, Does** や **don't, doesn't** は絶対に使ってはいけない。とくに、問題4のように、Do, Does で始まる疑問文を進行形に書きかえる問題では注意が必要だ。

be 動詞と同時に使えるのは動詞の ing 形で、これは進行形になるが、動詞の過去分詞も be 動詞と同時に使うことができ、これは**受身の文**になる(⇒ p.98)。



① 次の動詞を **ing** 形になおしなさい。

- | | |
|----------------|------------------|
| (1) fly _____ | (2) sing _____ |
| (3) eats _____ | (4) speak _____ |
| (5) come _____ | (6) take _____ |
| (7) cut _____ | (8) runs _____ |
| (9) stop _____ | (10) drink _____ |

② 次の文の _____ に適当な 1 語を入れて、進行形にしなさい。

- I use the computer.
→ I _____ the computer.
- He writes a report.
→ He _____ a report.
- My mother makes a big cake.
→ My mother _____ a big cake.
- They swim in the lake.
→ They _____ in the lake.
- Ryoko studies Korean in her room.
→ Ryoko _____ Korean in her room.

③ 日本文の意味を表すように、_____ に適当な 1 語を入れなさい。

- 私はその農家の人を手伝っています。
I _____ the farmer.
- ジェーンはその農家の人を手伝っていません。
Jane _____ the farmer.
- 彼らはベンチにすわっていません。
They _____ on the bench.
- 彼は学校へ行くところですか。
_____ he _____ to school?
- あなたはその絵を見えていますか。
_____ you _____ at the picture?

HELP

① **ing** は動詞の原形につける。

「3 単現の s」のつけ方と混同しないこと。

② be 動詞の形 (am, are, is) は主語によって決まる。

I	→	am
he	}	→ is
she		
you	}	→ are
we		
they		

単語

report

[rɪpɔ:t] リポート
報告書, レポート

lake [leɪk] 湖

Korean

[kəri(:)ən コリ(-)アン] 韓国人[語], 朝鮮人[語], 韓国(人[語])の, 朝鮮(人[語])の

③ (2)(3)「be 動詞 + not」を、短縮形にしなければ _____ の数が足りない。なお、ここでは使えないが、They are not ~. には **They're** not ~. という短縮形もある。

(4)(5) 疑問文は **is [am, are]** が文のはじめに出る。

(5)「~を見る」look at

単語

farmer [fɑ:məʊ]

農家従事者, 農家の人

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.6

1 次の文が正しい英文になるように、()内から適当な語句を選び○で囲みなさい。また、全文を日本語になおしなさい。

- (1) My mother (am, is, are) cooking dinner. ()
- (2) (Do, Are) you playing the guitar? ()
- (3) (Do, Are) you play the guitar? ()
- (4) They (aren't, don't) walk to the park. ()
- (5) My friends (aren't, don't) reading books. ()
- (6) He is (wash, washes, washing) his car. ()
- (7) (Is, Are, Am) the baby sleeping in the bed? ()
- (8) She (know, knows, is knowing) my sister. ()

2 次の文を進行形にかえなさい。ただし、(4)と(5)は対話文です。

(1) Yumiko helps her mother.

(2) He doesn't watch TV in his room.

(3) Does she surf the Internet?

(4) "Do you listen to the CD?" "No, I don't."

(5) "Does she study hard?" "Yes, she does."

3 次の文を英語になおしなさい。

(1) 彼は友だちとコンピューター・ゲーム(computer games)をしているところです。

(2) 彼女はそこでの滞在を楽しんでいますか。

(3) あなたはここで何をしていますのですか。

HELP **1** 動詞に **ing** がついていれば前に **be** 動詞が必要。(1) cook dinner 「夕食を料理する」



(8) **know** (知っている) は進行形にしない。

2 (2) doesn't を isn't にする。(3)~(5) Do, Does を be 動詞に置きかえる。

(3) surf [sɜːrf] the Internet 「ネットサーフィンする」

3 (1) 「コンピューター・ゲームをする」 play computer games (2) 疑問文である。

「楽しむ」 enjoy [indʒɔɪ], 「滞在」 (one's) stay (3) what で始める。

3

数・量の表し方,
冠詞

問題にチャレンジ

1 book air radio money
本 空気 ラジオ お金

2 I want **two milks**.
牛乳が2杯ほしい。

3 desk country box knife
机 国 箱 ナイフ

4 I study English for (**a, an, the**) hour.
私は1時間英語を勉強します。

問 数えられない名詞を2つ選べ。

→ 2

問 正しい英文にせよ。

→ 2

問 それぞれを複数形にせよ。

→ 3

問 ()内から適当な語を選べ。

→ 4

1 名詞には2種類ある

名詞には、six balls (6個のボール) などのように**数えられる名詞**と複数形のない**数えられない名詞**とがある。数えられない名詞の代表としては、water (水) や paper (紙) などの**物質名詞**がある。物質名詞は決まった形を持たないので、そのままでは数えられないのだ。

2 物質名詞の量の表し方

物質名詞は、容器・枚数などの**単位を表す語を使ってその量を表す**。つまり、水なら容器に入れることで形が決まり、紙なら切ることで形が決まる。そこではじめて数えられるようになるというわけだ。

もっとくわしく

【数えられない名詞】

物質名詞 = water, paper など

抽象名詞 = English (英語), math (数学), music (音楽) などの科目名,

peace (平和), art (芸術) など形がなく、頭の中で考えたもの。

固有名詞 = 人の名や場所などの特有の名称。固有名詞は Japan (日本) のように最初の文字を大文字にする。

物質名詞の量は「単位」+ of の形で表す

- ① 1杯の水[ミルク] → a glass of water [milk]
- ② 1杯のお茶[コーヒー] → a cup of tea [coffee]
- ③ 1切れのパン → a piece of bread
- ④ 1さじの砂糖 → a spoonful of sugar
- ⑤ 1枚の紙 → a sheet of paper

なお、**money** (お金) は数えられない名詞である。お金は、円やドルという単位を使って、はじめて量を表せるからだ。

(X) many moneys → (O) much money (= a lot of money)

1の答 → air, money

2の答 → I want **two glasses of milk**.

☐複数形にする

得点アップのコツ

「2杯」以上や「2枚」以上の表し方は、

two cups of tea
two glasses of water
five sheets of paper
のようにする。

3 複数形の作り方

数えられる名詞では、ふつう **s** をつければ複数形になる。

pencil (鉛筆) → pencils tree (木) → trees dog (犬) → dogs
しかし、次のような例外がある。



- ① 「子音字 + y」で終わる名詞 → **y** を **i** にかえて **es** をつける
city (市) → cities / baby (赤ん坊) → babies
- ② **s, x, sh, ch** で終わる名詞 → **es** をつける
class (組) → classes / box (箱) → boxes / dish (皿) → dishes
- ③ **f, fe** で終わる名詞 → **f, fe** を **v** にかえて **es** をつける
knife (ナイフ) → knives / leaf (葉) → leaves

【注意したい複数形】

tomato (トマト) → **tomatoes** child (子ども) → **children** [tʃɪldrən]
man (男) → **men** woman (女) → **women** [wɪmɪn]
mouse (ねずみ) → **mice** tooth (歯) → **teeth**

fish (魚), Japanese (日本人), sheep (羊) は単数と複数が同じ形。

数えられる名詞と数えられない名詞では、「たくさんの」や「少しの」という表現も使い分けなければならない。

	たくさんの	少しの
数えられる名詞	many books a lot of books	a few books
数えられない名詞	much water a lot of water	a little water

3の答 → desks, countries, boxes, knives

4 a, an と the — 冠詞

数えられる名詞の単数形には、ふつうは a [an] か the をつける。a は「1つの」という意味を表すが、訳さないことが多い。

the は「その」という意味を表す。the を使うのは次の場合である。

- ① 同じ名詞が2度目に話題にのぼる場合
I have a book. **The** book is red.
(私は本を持っています) (その本は赤い)
- ② 相手にわかっているものをさす場合
She opens **the** window. (彼女は窓を開けます)
- ③ 楽器を弾く (play) 場合
He plays **the** guitar well. (彼は上手にギターを弾きます)

なお、**a** は母音の前では **an** にかわる。

an aunt (おば) / **an** uncle (おじ) / **an** old computer (古いコンピューター)

4の答 → **an** → hour [ˈaʊər] は、h から始まるが、発音は母音で始まる。

得点アップのコツ

【語尾 s, es の発音】

- (1) ふつうは [z] と発音する。
- (2) [f], [k], [p], [t] の音のあとでは [s] と発音する。
- (3) [s], [z], [ʃ], [ʒ], [tʃ], [dʒ] の音のあとでは [ɪz] と発音する。



もっとくわしく

a, an はもともと one からできた語であるため、数えられる名詞の単数形にしかつけない。

the は左の①～③のほか、次のような場合に使う。

④ 「～というもの」の意味で、種類全体を表すとき

The cow is a useful animal.

(牛は役に立つ動物です)

⑤ ただ1つしかないものをさすとき

the sun (太陽)

the west (西)

⑥ 形容詞の最上級

the fastest runner

(1番速い走者)

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.7

① 次の語を複数形にしてください。ただし、複数形にできないものには、×を書きなさい。

- | | | | |
|--------------|---------|------------|---------|
| (1) bird | → _____ | (2) glass | → _____ |
| (3) milk | → _____ | (4) coin | → _____ |
| (5) family | → _____ | (6) watch | → _____ |
| (7) computer | → _____ | (8) woman | → _____ |
| (9) dish | → _____ | (10) wife | → _____ |
| (11) money | → _____ | (12) fish | → _____ |
| (13) story | → _____ | (14) child | → _____ |

② 日本語の意味を表す語句になるように、____に適切な語を下から選んで入れなさい。(同じ語を2度使ってもよい)

- (1) a _____ of water
1杯の水
- (2) _____ of cocoa
2杯のココア
- (3) seven _____
7枚の紙
- (4) _____ cake
1切れのケーキ
- (5) three _____ salad oil
スプーン3杯のサラダ油

a two of glass cup cups paper
papers piece sheet sheets spoons
spoonfuls

③ 次の文が正しい英文になるように、()内から適切な冠詞を選びなさい。必要のない場合は、×を選びなさい。

- (1) This is (a, an) DVD. (A, An, The) DVD is new.
これはDVDです。そのDVDは新しい。
- (2) Does your brother play (a, an, the, ×) ukulele?
あなたのお兄さんはウクレレを弾きますか。
- (3) We must wait for her for (a, an, ×) hour.
私たちは彼女を1時間待たなければならない。
- (4) This is (a, the, ×) his address.
こちらが彼の住所です。

HELP

- ① 物質名詞(water, coffeeなど)は数えることができないから、複数形にはできない。
- (8) 複数形の発音[wimin]に注意。

単語

coin [koin]

硬貨

wife [waif]

妻

- ② (1)(2) 水は冷たいのでglass(コップ)に、ココアは熱いのでcup(カップ)に入れると覚えよう。
- (2)(3) それぞれ「容器」や「単位」を表す語を複数形にする。

- ③ aを使うかanを使うかは、あとに来る語の最初の発音で判断する。
- (2) ukulele「ウクレレ」は楽器である。
- (4) his addressのhisに注意。

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.7

1 下の語の語尾の **s**、または **es** の発音を、次の(1)~(3)に分類し、記号で答えなさい。

- (1) [s] ()
 (2) [z] ()
 (3) [ɪz] ()

ア apples	イ books	ウ glasses	エ bags
オ watches	カ maps	キ jackets	ク problems
ケ dishes	コ parents	サ stories	シ boxes

2 次の **C** と **D** の関係が、**A** と **B** の関係と同じになるように、**D** の () 内に適当な語を 1 語ずつ入れなさい。

A	B	C	D
(1) woman	women	gentleman	()
(2) leaf	leaves	knife	()
(3) tomato	tomatoes	potato	()
(4) city	cities	lady	()
(5) foot	feet	tooth	()
(6) century	centuries	family	()
(7) church	churches	bench	()

3 日本文の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。

(1) マイクは毎朝フランスパンを 2 切れ食べます。(1 語不足)
 (eats, morning, pieces, every, French, Mike, two, bread).

(2) スミスさんは古い時計を 1 個持っています。(1 語不要)
 (an, has, clock, Mr. Smith, old, a).

(3) 太陽は東から昇ります。
 (rises, east, sun, in, the, the).

HELP



1 s や es の前の語の発音が無声音(息だけの音)なら [s], [s̥, z̥, tʃ, dʒ] のあとでは [ɪz]。

2 (1) gentleman(紳士)の複数形は man の場合と同じ。(2) 語尾が fe の語の複数形は?

3 (1)「毎朝」every morning (2) **old** は母音で始まる単語であることに注意。Mr., Ms., Mrs., のピリオド(.)は省略されることもある。(3) **sun** も **east** も、この世に 1 つしかないので **the** をつける。

4

疑問詞の整理



問題にチャレンジ

1 I play tennis in the park on Sunday.

私は日曜日に公園でテニスをします。

2 I am fourteen years old.

私は14歳です。

3 How many pencil do you have?

あなたは何本の鉛筆を持っていますか。

問 下線部をたずねる疑問文にせよ。

→ 1

問 下線部をたずねる疑問文にせよ。

→ 2

問 まちがいがあればなおせ。→ 2

1 疑問詞(Wh ~)のついた疑問文

何を持っているかをたずねるときは、Do you have a book? の a book の代わりに疑問詞 what (何) を入れればよい。だが、疑問詞はみな「目立ちたがり屋」ばかりで、常に文のはじめに置く。

必修文例

Do you have **what**?

What do you have? (君は何を持っていますか)

上の問題1の文について、たずねるものと疑問詞の関係を示すと、次のようになる。

I (人)	play	tennis (もの、こと)	in the park (場所)	on Sunday. (時間)
↓		↓	↓	↓
who (だれ)		what (何)	where (どこで)	when (いつ)

ポイント

「Wh ~」のある疑問文 → 「Wh ~」 + 疑問文?

↑ 疑問詞

↑ 疑問詞は文のはじめに

1の答 → Where do you play tennis on Sunday? (あなたは日曜日

にどこでテニスをしますか) → in the park の代わりに where を使う。

2 how を使った重要表現

how は「どのようにして」と訳し、方法をたずねるときに使う。

He goes to school by bus. (彼はバスで学校へ行きます)

この下線部 by bus をたずねる文は、次のようになる。

How does he go to school? (彼はどうやって学校へ行きますか)

Q&A

Q 疑問詞にはどんなものがありますか。

A what, who, when, where など wh で始まり、「何」「だれ」「いつ」「どこ」など疑問の意味を持つ語、および how などがあります。

得点アップのコツ

who が主語の英文は、do や does などを使わずに疑問文にする。

たとえば、問題1の文章では I を Who に入れかえて

Who plays tennis in the park on Sunday?

(だれが日曜日に公園でテニスをしますか)

とすればよい。

また、How + 形容詞(副詞)～?は「どのくらい…?」と程度をたずねるときに使う。

ポイント	How many	数
	How much	値段・量
	How old	年齢・ものの古さ
	How tall	身長・ものの高さ
	How long	ものや時間の長さ
	How far	距離
	How deep	深さ
	How often	頻度

なお、数をたずねる **How many** のあとは**複数**の名詞をつける。

How many + 複数の名詞 + (疑問文)?

2の答→ **How old are you?** (あなたは何歳ですか) → 下線部は、年齢を表している。

3の答→ pencil を **pencils** とする。→ **How many** のあとには**複数形**の名詞が来る。

3 名詞の前につける疑問詞

whose (だれの), which (どちらの, どの), what (何)は、他の疑問詞と同じように使えるほか、名詞にくっつけて使うこともできる。

必修文例	Whose album is this? (これはだれのアルバムですか)
	Which book did he buy? (彼はどちらの本を買ったのですか)
	What color is this? (これは何色ですか)

4 疑問詞の整理

疑問詞	発音	意味	たずねるもの
what	[(h)wʌt]	何, どんな	物, ようす
who	[hu:]	だれ	人, 人名
whose	[hu:z]	だれの(もの)	所有
which	[(h)wɪtʃ]	どちら(の)	物(選択)
when	[(h)wen]	いつ	時
where	[(h)weə]	どこで	場所
why	[(h)wai]	なぜ	理由(⇒ p.83)
how	[hau]	どのようにして どのくらい	方法 程度

もっとくわしく

なお、**How long**～?は時間以外の長さをたずねることもできる。

How long is this tape?

(このテープはどのくらいの長さですか)

How often～?は**How many times**～?に言い換えることができる。

How often have you been to Hawaii?

= **How many times**

have you been to Hawaii?

(ハワイへは何回行ったことがありますか)

得点アップのコツ

How much～?は量をたずねる言い方である。特に金額をたずねる場合によく使う。

How much is this book?

(この本はいくらですか)

もっとくわしく

whichは2つのうち「どちらの」という意味だけではない。3つ以上の特定の範囲の中から選ぶ「どの」という意味もあることを覚えておこう。

得点アップのコツ

疑問詞のある疑問文を進行形にするとき、疑問詞を切り離して考えるとよい。

Where do you go?

切り離す

↓進行形にする

are you going?

↓くっつける

Where are you going?

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.7

① 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) これはだれのコンピューターですか。
Whose _____ is this?
- (2) このコンピューターはだれのものですか。
Whose _____ this _____?
- (3) あの花は何ですか。
What _____ flower?
- (4) あれは何の花ですか。
What _____ is _____?

② 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) あなたは何歳ですか。
How _____ are you?
- (2) あのバスケットボール選手の身長はどのくらいですか。
How _____ is that basketball player?
- (3) この川はどのくらいの長さですか。
How _____ is this river?
- (4) あなたは何枚のCDを持っていますか。
How _____ CDs do you have?
- (5) この自転車はいくらですか。
How _____ is this bike?
- (6) 大阪から東京までどのくらいの距離ですか。
How _____ is it from Osaka to Tokyo?

③ 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) Who is that pretty girl?
(_____)
- (2) When does Jun eat dinner?
(_____)
- (3) Where does Jun eat dinner?
(_____)
- (4) Where is Shinji? — He's in the music room.
(_____)

HELP

① 「疑問詞 + is ~ ?」
の文か、それとも
「疑問詞 + 名詞 + is ~ ?」
の文かを判断する。
文の主語は、
(1) これ
(2) このコンピューター
(3) あの花
(4) あれ
である。

② (3) 「どのくらいの長さ」→どのくらい長い
(4) 「何枚」→数をたずねる
(5) 「いくら」→金額をたずねる



③ (2)(3) dinner は厳密には「1日のうちで主要な食事」という意味だが、たいてい、「夕食」と訳しておけばよい。
(4) この場合の is は、「います、あります」と訳す。

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.7

1 次の文の下線部をたずねる文を書きなさい。

(1) This is my camera.

(2) He lives in Okinawa.

(3) She has two brothers.

(4) Children in this town play football on Sunday.

(5) I like English the best. (subject を使って)

2 次の文に対する答えを、()内の語句を使って書きなさい。

(1) What do you have in your bag? (a notebook)

(2) Whose house is this? (Mr. Brown)

(3) Which season does he like? (spring)

(4) Where is your father staying? (in Kyoto)

3 日本文の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。ただし、各組とも不要な語句が1つずつあります。

(1) 彼はマンガの本を何冊持っていますか。

(comic book, comic books, does, how, he, have, many)?

(2) あなたは昼食後、何をしますか。

(do, do, does, after, what, lunch, you)?

HELP



1 (1) my は所有。(2) in Okinawa は場所を表す。(4)「on + 曜日」で「～曜日に」。

(5) subject 「科目」

2 疑問詞で始まる文は、**Yes** や **No** を使って答えることはできない。(3) season 「季節」

3 (1) 数をたずねる文。「マンガの本」は comic book か comic books のどちらを使うか?

(2) 「昼食後」 after lunch



5 代名詞

問題にチャレンジ

1 This is **my bag**. That is **your bag**.

これは私のかばんです。あれはあなたのかばんです。

2 How far _____ from here to the park? ここから公園まで、どのくらいありますか。

3 What time is now? 今、何時ですか。

4 This is **my dog**. Do you have **it**?

これは私の犬です。あなたは犬を飼っていますか。

問 下線部を1語にせよ。 → 1

問 _____に適当な1語を入れよ。 → 2

問 正しい英文にせよ。 → 3

問 正しい英文にせよ。 → 4

1 代名詞と I - my - me などの変化

it(それ)という言葉は、単数の「もの」なら何でも表すことができる。「それ、おもしろそうだね」の「それ」は本かもしれないし、ゲームかもしれない。このように、ふつうの名詞(本、ゲームなど)の代わりをする名詞を**代名詞**と呼ぶ。

人称代名詞 <small>にんしょう</small>	主格 <small>(～は、～が)</small>	所有格 <small>(～の)</small>	目的格 <small>(～を、～に)</small>	所有代名詞 <small>(～のもの)</small>	再帰代名詞 <small>(～自身)</small>
私	I	my	me	mine	myself
あなた	you	your	you	yours	yourself
彼	he	his	him	his	himself
彼女	she	her	her	hers	herself
それ	it	its	it		itself
私たち	we	our	us	ours	ourselves
あなたたち	you	your	you	yours	yourselves
彼(女)ら それら	they	their	them	theirs	themselves

代名詞の目的格

① Do you know **me**? (あなたは私を知っていますか)

↳ I の目的格

【動詞の後に使う】

② She goes to school with **us**. (彼女は私たちと学校に行きます)

↳ we の目的格

【前置詞の後に使う】

所有格と所有代名詞

所有格(～の)と所有代名詞(～のもの)の言いかえに慣れよう。

This is **your** desk. → This desk is **yours**.

↳ you の所有格

↳ you の所有代名詞

(これはあなたの机です)

(この机はあなたのものです)

もっとくわしく

左にあげた代名詞は**人称代名詞**だが、代名詞にはほかに次のようなものがある。
指示代名詞 = this (これ), these (これら), that (あれ), those (あれら) など。

不定代名詞 = some (いくらか), any (いくらか), one (1つ)
↳ 肯定文のときに使う
↳ 否定文のときに使う
([同種]の)それ など。

得点アップのコツ

名詞の**所有格**は「～の」の意味で、あとの名詞を修飾する。ふつうは語尾に「's」をつける。

my father's car
(父の車)

ここに注意

冠詞と所有格は同時に使えない → 所有代名詞の助けをかりる。

(×) a my friend はダメ
→ a friend of **mine**

(私の友だちの1人)
↳ 1 の所有代名詞

1の答→ That is **yours**. (あれはあなたのものです) → your bag (あなたのかばん) を yours (あなたのもの) と考える。

2 itの特別用法

時間・天候・距離・明暗を表す文では、**it**を主語に使う。

↓下の③でくわしく説明

必修文例

- ① **It** is fine today. (きょうはよいお天気です) [天候]
- ② **It** is two miles from here to the park. (ここから公園まで2マイルあります) [距離]
- ③ **It** gets dark before five o'clock. (5時前に暗くなります) [明暗]

①の文の「きょうは」は主語のように思えるが、「日」を表す語句(副詞)であり、文の主語にはできない。

↓44ページを見よ

ポイント

時間・天候・距離・明暗の文では、**It = 主語**(itの特別用法)

2の答→ How far **is it** from here to the park? → 「距離」をたずねている。How far ~ ? (どのくらい~)は「距離」を聞くときの決まり文句。

3 時間を表す it

必修文例

- ① What time is **it**? **It** is nine thirty. (何時ですか) (9時30分です)
- ② **It** is Monday today. (きょうは月曜日です)
- ③ **It** takes fifteen minutes from here to the station. (ここから駅までは15分かかります)
→③の文の **take** は「(時間)がかかる」の意味。

3の答→ What time is **it** now? → 「時間」をたずねる文なので主語のitが必要。

4 代名詞 one

one は数の「1」の意味のほかに、「それ」と訳すことがある。

I have a bike.

(私は自転車を持っています)

Do you have **one**?

(君はそれを持っていますか)

この one は a bike のことで、a bike のくり返しを避けるために使っている。この **one** は同種類のものを指す代名詞だ。

これに対し、**it** は同一物を指すときに使う。

4の答→ it を **one** にする。→ Do you have **it**? なら「あなたは私の犬を飼っていますか」というおかしい意味になる。
↑同一物

ここに注意



時間・天候・距離・明暗を表す文の **it** は訳してはいけない。

It is seven. (7時です) と訳す。「それは~」としないこと。

もっとくわしく



「雪[雨]が多い」という表現は、

It snows [rains] much this year.

(今年はたくさんの雪[雨]が降る)

と表せるが、**We have ~** の文がよく使われる。

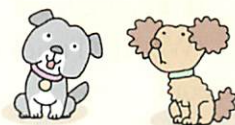
We have much snow [rain] this year.

(今年は雪[雨]が多い)

ここに注意



they は、he, she, it の複数形。訳すときは「彼ら」だけでなく「彼女たち」、「それら」の意味もあることを忘れないようにしよう。





① 次の文の下線部を代名詞になおしなさい。

- (1) My father knows that boy. _____
- (2) Makoto knows Jack and Lucy. _____
- (3) You and I are good friends. _____
- (4) I know Lucy. Lucy knows me. _____
- (5) I like my father's car. _____
- (6) She will sing for you and me. _____
- (7) This is my uncle's camera. _____
- (8) My mother's dress is beautiful. _____
- (9) Where is your sister? _____

② 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) It's cool today.
(_____)
- (2) Those computers are old. Yours is new.
(_____)
- (3) It's twelve o'clock.
(_____)
- (4) She can't carry it herself.
(_____)

③ 次の文の()内から正しいものを選びなさい。

- (1) (We, Our, Us) English teacher is Mr. Kato.
私たちの英語の先生は加藤先生です。
- (2) (They, Their, Them) are kind to (we, our, us).
彼らは私たちに親切にしてくれます。
- (3) This is my new bike. My friend has (one, it), too.
これは私の新しい自転車です。私の友人もそれを持っています。
- (4) Ken is a friend of (my, me, mine).
健は私の友人です。
- (5) (We, It, Time) takes two hours to fly from Tokyo to Seoul.
飛行機で、東京からソウルまで2時間かかります。

HELP

- ① (2)(4) Lucy 「ルーシー」(女の子の名前)
(3)(6)「あなた」と「私」で「私たち」となる。
(6)前置詞のあとの代名詞は、目的格。

- ② (1) cool [ku:l] 「すずしい」
(2) Yours が指しているものを具体的に訳す。
(3) o'clock [ɔːklɒk] 「…時」(o'clock は省略することもある)
(4) carry 「～を運ぶ」, herself 「彼女自身(で)」

- ③ 主語(～は、～が)は主格を、目的語(～を、～に)は目的格を使う。
(3) **it**は同一物、**one**は同種類のものを指す。too (～も)の前のコンマ(,)は省略されることもある。
(5) **take** はたいてい、「～を取る、持っていく、連れていく」だが、あとに時間などを表す語句がくると、「(時間など)がかかる」という意味になる。

単語

be kind to ~
～に親切である

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.8

1 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) それは彼のネコです。その名前はタマです。
It is _____ cat. _____ name is Tama.
- (2) 私の帽子は青い。私は赤い帽子がほしい。
_____ cap is blue. _____ want a red _____.
- (3) 彼女は自分自身について話しています。
_____ is talking about _____.
- (4) ここから彼女の家までどのくらいありますか。
How far is _____ from here to _____ house?

2 次の文の____に適切な1語を入れて、問いと答えの文を完成しなさい。

- (1) Is your sister at the gym now?
Yes, _____.
- (2) Does your school have many computers?
No, _____.
- (3) _____ the boy going to the farm?
Yes, _____ is.
- (4) Do _____ read these newspapers?
No, I _____ read _____.

3 次の文を、()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) It's his diary. (下線部を1語に)

- (2) She is a good nurse. (下線部を nurses に)

- (3) These are new CDs. (下線部を CD に)

- (4) We have lots of rain in June. (It で始まる同じ内容の文に)
It _____

HELP



- 1** (1) 動物はふつう「物」と考える。(2)「青い帽子」と「赤い帽子」は同種類の物。
- 2** (1) be at ~「~にいる」、gym「体育館」(2) your school は「単数」で「物」。(4) 文の終わりの語は動詞のあとにあるので、**目的格**にする。newspaper [n(j)ú:zpeipə] ニューズペイパァ「新聞」
- 3** (1) diary [dáiəri]「日記」(2)(3) 主語や be 動詞もかえる。nurse [nɜ:rs]「看護師」(4) rain は名詞(雨)にも動詞(雨が降る)にも使える。「~月に」は「in + 月名」で表す。

定期テスト予想問題1

時間 20分
解答 → 別冊 p.8

得点
/ 100

1 次の文の()内から正しい語句を選びなさい。

〈10点 = 2点 × 5〉

- (1) The girl (is, is play, plays, plaies) the *koto* well.
- (2) (Is, Am, Are, Do) your brother tall?
- (3) That is (we, our, us, ours) new house.
- (4) My sister (is, study, is study, is studying) Chinese now.
- (5) How (many, far, old, long) does it take from here to the station?

2 次の文のまちがいをなおして、全文を書きなさい。ただし、太字部分は正しいものとする。

〈12点 = 3点 × 4〉

- (1) Are you **have** a digital camera?

- (2) This is **my brothers**.

- (3) I don't want many **money**.

- (4) **How many** child does Mr. Smith have?

3 日本語の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

〈15点 = 3点 × 5〉

- (1) だれが公園を走っているのですか。——ルーシーです。
_____ is _____ in the park? — Lucy is.
- (2) 彼女は何歳ですか。——彼女は17歳です。
_____ is she? — She is seventeen.
- (3) あなたの犬は大きいですか。
_____ your dog _____?
- (4) トムは早く起きますか。
_____ Tom _____ up early?
- (5) 彼は私の友人です。
He is a _____.

4 日本語の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。ただし、下線の語は適する形にかえること。

〈16点 = 4点 × 4〉

- (1) あなたはどんな花が好きですか。
(you, do, flower, what, like)?

(2) 彼女はテレビでドラマを見ているところです。

(watch, dramas, is, she) on TV.

_____ on TV.

(3) 私は手紙を書いているところではありません。

(a, write, letter, not, am, I).

(4) 私はウーロン茶が1杯ほしい。

(want, glass, I, of, a, oolong tea).

5

次の文を日本語になおしなさい。

〈12点 = 3点 × 4〉

(1) Bob is practicing judo.

(_____)

(2) What is your mother doing in the kitchen?

(_____)

(3) It doesn't rain much in this country.

(_____)

(4) This computer is mine. That one is his.

(_____)

6

次の文を英語になおしなさい。

〈25点 = 5点 × 5〉

(1) 相手に現在の時刻をたずねるとき。(5語)

(2) 相手が手に何を持っているかたずねるとき。(7語)

(3) 店員に「あのラケット(racket)はいくらですか」とたずねるとき。(5語)

(4) 相手に「どのようにして学校へ行くのですか」とたずねるとき。(6語)

(5) 相手が持っているコンピューターの台数をたずねるとき。(6語)

7

〈リスニング問題〉 07 同じ高校に通う **Judy** と **Akio** の対話を聞いて、質問に対する最も
適当な答えを、ア～エの中から1つずつ選びなさい。

〈10点 = 5点 × 2〉

(1) ア Nothing. イ More food.

ウ Coffee. エ Tea.

(2) ア Next Sunday. イ Today.

ウ Next Saturday. エ For a month.

わかるゼミ2

過去・現在・未来

時間をとびこえる——過去・現在・未来

犬やネズミとちがって人間は「**あす**はテストだから勉強しよう」、「**きのう**は楽しかったね」などと「未来」や「過去」のことを考えることができる。だから言葉にも「未来」や「過去」を表すものが必要なんだ。



動詞を見ればピタリとわかる——過去の文(~した)

過去の文はふつう動詞の形をかえてつくる。だからたいい動詞を見れば「これは<過去>の文だ」とわかる。動詞にはbe動詞(am, are, is)と一般動詞(be動詞以外の動詞)があるのは知っているね。過去の文も**be動詞**と**一般動詞**ではそれぞれ別の作り方をする。

be動詞の過去の文

必修文例

〔現在形〕

〔過去形〕

I **am** a doctor. → I **was** a doctor.

(私は医者**です**)

(私は医者**でした**)

He **is** in China. → He **was** in China.

(彼は中国に**います**)

(彼は中国に**いました**)

We **are** students. → We **were** students.

(私たちは学生**です**)

(私たちは学生**でした**)

このようにisやamは**was**にかえると過去の文になる。また、areは**were**にすると過去の文になる。

得点アップのコツ



2, 3年生では、教科書で読む英文の80%以上は過去の文だ。「2年生からどうも英語が苦手になった…」と思っている人はほとんど過去の文でつまづいている。過去や未来の文で使う動詞の過去形や原形を、この章できっちり身につけておこう。

原形	現在形	過去形
be	am is are	was were
play	play plays	played

be動詞は原形と現在形と過去形がみなちがう。

一般動詞は、3単現のsのつかない現在形が、原形と同じ形だ。



一般動詞の過去の文

一般動詞の文を過去にするには、be 動詞のようにかんたんにはいかない。ちょっと手ごわいぞ！

一般動詞の文を過去の文にするには、動詞に **ed** をつけるのが基本である。

必修文例	〔現在形〕	→	〔過去形〕
	I play tennis. (私はテニスをします)		I played tennis. (私はテニスをしました)
	They watch TV. (彼らはテレビを見ます)		They watched TV. (彼らはテレビを見ました)

ふつうは上のように、**ed** をつけると過去の文ができる。しかし、この基本法則には例外があるのだ。

それが**不規則動詞**だ。

たとえば、go の過去形は went、make の過去形は made だ。このように、規則性のない変化をする動詞を不規則動詞と言う。不規則動詞の過去形の語尾は ed にならない。

必修文例	〔現在形〕	→	〔過去形〕
	I go to school. (私は学校へ行きます)		I went to school. (私は学校へ行きました)
	We make a cake. (私たちはケーキをつくります)		We made a cake. (私たちはケーキをつくりました)

不規則とは言っても、変化にはいくつかのパターンがあるので、要領よく覚えるとよい(⇒ p.31)。

未来の文は will または be going to

未来の文を作るには、動詞の前に **will** をつける。このとき、動詞は**必ず原形**にする。

必修文例	〔現在形〕	→	〔未来〕
	He reads a book. (彼は本を読みます)		He will read a book. (彼は本を読むでしょう)

will の代わりに be going to を使っても、ほぼ同じ意味になる。

He **is going to** read a book. (= He **will** read a book.)
原形

未来の文では、will や be going to といっしょに**動詞の原形**が使われることに注意しておこう。



Q&A

Q 不規則動詞の過去形は、何を見て覚えたらいいのですか。

A この本の p.31 に、まず覚えてほしい25の不規則動詞の過去形を、現在形とのちがいに注意して示しました。また、2年と3年の教科書の後ろのページには、不規則動詞の一覧表(Irregular Verb List)が出ていますし、英語の辞書にも必ず出ています。これらの一覧表では、**原形(現在形)・過去形**のほか**過去分詞**が示してありますが、過去分詞も過去形のあとすぐ学ぶので、過去形を覚えるとき、

go — went — gone

などと、過去分詞もいっしょに覚えるのが上手な勉強法です。

6

過去の文



問題にチャレンジ

1 Did you **studied** English yesterday?

あなたはきのう英語を勉強しましたか。

2 Mary **is** busy now.

メアリーは今、忙しい。

3 They **run** in the park.

彼らは公園で走ります。

問 まちがいをなおせ。 → 1

問 下線部を yesterday になおせ。 → 3

問 過去進行形の文にせよ。 → 4

1 一般動詞の過去形 — 規則動詞

動詞の過去形をつくるときの原則は、**動詞の原形に ed** をつけることだ。

必修文例	【現在】 She looks at the picture. (彼女はその絵を見ます)
	↓ 原形 + ed
	【過去】 She look ed at the picture. (彼女はその絵を見ました)

動詞に ed をつけるとき、次の法則に気をつけること。

ポイント

- ① **e** で終わる動詞 → **d** だけつける (e が重なるから)
hope (望む) → hoped like (好む) → liked
- ② 「子音字 + **y**」で終わる動詞 → **y** を **i** にかえて **ed**
↳ 3 単現の es と同じ法則
study (勉強する) → studied cry (さげふ) → cried
- ③ 「1 母音字 + 1 子音字」で終わる動詞 → 子音字を重ねて **ed**
↳ ing のつけ方と同じ
stop (やめる) → stopped drop (落とす) → dropped

過去の疑問文は**文頭に Did** を、否定文は**動詞の前に didn't** を使う。
この場合、**動詞は原形**になることに注意。

必修文例	【現在】 Does he live in Tokyo? (彼は東京に住んでいますか)
	【過去】 Did he live in Tokyo? (彼は東京に住んでいましたか) <small>↳ lived としないこと</small>
	【現在】 I don't need a bag. (私はかばんが必要ではない)
	【過去】 I didn't need a bag. (私はかばんが必要ではなかった)

1 の答 → Did you **study** English yesterday?
↳ 原形にする

得点アップのコツ

ed の発音は、そのすぐ前の発音によって決まる。

- ① 無声音 (息だけの音) のあとでは [t]
- ② [t], [d] のあとでは [ɪd]
- ③ これ以外の音 (有声音) のあとでは [d]

過去の疑問文 (一般動詞)

→ Did + 主語 + 動詞の原形 ~ ?

過去の否定文 (一般動詞)

→ did not + 動詞の原形 ~ .

ここに注意

didn't は did not の短縮形である。

2 不規則動詞—ed が使えない気まぐれな動詞

[現在]	[過去]	(意味)	[現在]	[過去]	(意味)	[現在]	[過去]	(意味)
〈同じ形の過去〉			〈o, oo を使う過去〉			〈その他の過去〉		
cut	cut	(切る)	get	got	(得る)	build	built	(建てる)
read	read	(読む)	speak	spoke	(話す)	go	went	(行く)
put	put	(置く)	tell	told	(話す)	buy	bought	(買う)
〈a を使う過去〉			〈ew になる過去〉					
begin	began	(始める)	stand	stood	(立つ)	do	did	(する)
come	came	(来る)	take	took	(とる)	have	had	(持っている)
give	gave	(与える)	know	knew	(知っている)	say	said	(言う)
run	ran	(走る)	grow	grew	(成長する)	eat	ate	(食べる)
sit	sat	(すわる)				make	made	(つくる)
						see	saw	(見る)

3 be 動詞の過去形—was と were

be 動詞(現在形は am, are, is)の過去形は **was, were** である。「～でした」「～があった」などと訳す。

(主語)	(be 動詞)
I am was
単数(I, you 以外) is
you と複数 are were
	現在の文 過去の文

was, were の疑問文・否定文は am, is, are の文と同様に考える。

必 修 文 例	● She was busy. (彼女は忙しかった)
	〔疑問文〕 Was she busy? (彼女は忙しかったですか)
	〔否定文〕 She wasn't busy. (彼女は忙しくなかった)

2の答→ Mary **was** busy yesterday. (メアリーはきのう忙しかった) → was は is の過去形。

4 過去進行形—was [were] + 動詞の ing 形

進行形(be 動詞 + 動詞の ing 形)の be 動詞を am, is, are にすれば現在進行形, was, were にすれば「～していました」と過去に進行中の動作を表す過去進行形になる。

現在進行形	I am playing baseball. (私は野球をしています)
過去進行形	I was playing baseball. (私は野球をしていました)

3の答→ They **were running** in the park. (彼らは公園で走っていました)
↑主語は複数 ↑ing のつけ方は p.11

得点アップのコツ

was や were のある疑問文に答えるときは, was, were を使えばよい。

Were they happy?
 Yes, they **were**.
 No, they **weren't**.

ここに注意

wasn't は was not,
weren't は were not の短縮形である。

〔過去を表す語句〕

yesterday = 「きのう」
then [ðen] = 「そのとき」
 = **at that time**
last ~ = 「この前の～」
 ~ **ago** = 「～前」

ここに注意

現在進行形と過去進行形を両方合わせて「**進行形**」と言うことも多い。
 状態を表す動詞はふつう進行形にはしない。

know (知っている)
like (気に入っている)
have (持っている)
live (住んでいる) など。



① 次の動詞の過去形を書きなさい。

- (1) help(手伝う) → _____
- (2) live(住んでいる) → _____
- (3) cry(さけぶ) → _____
- (4) go(行く) → _____
- (5) make(つくる) → _____
- (6) write(書く) → _____
- (7) have(持っている) → _____
- (8) know(知っている) → _____
- (9) speak(話す) → _____

② 次の文の()内から正しいものを選びなさい。

- (1) My parents (am, is, are, was, were) busy yesterday.
- (2) They (watch, watches, watched) TV last night.
- (3) Mike (am, is, are, were) in Kyoto today.
- (4) The boy (was played, was play, was playing) the drums.
- (5) Did you (study, studies, studied) math?
- (6) (Is, Was, Did) your sister sleeping now?
- (7) Kathy didn't (see, saw, seeing) Tom.
- (8) Mother (isn't, doesn't, didn't) using the computer.
- (9) I (am, were, wasn't) a good tennis player then.

③ 次の文を疑問文と否定文に書きかえなさい。

- (1) Jiro studies English every day.
〔疑問文〕 _____
〔否定文〕 _____
- (2) Jiro studied English yesterday.
〔疑問文〕 _____
〔否定文〕 _____
- (3) Jiro was studying English at that time.
〔疑問文〕 _____
〔否定文〕 _____

HELP

① (1)~(3)は **ed** を使って過去形をつくる。ただし、(2) 語尾に **e** がある。(3) **y** を **i** にかえることに注意。(4)~(9)は**不規則動詞**。

② **yesterday** や **last** ~があれば**過去の文**。
now があれば**現在の文**である。

単語

parent [pé(ə)rənt]
ペ(ア)レント
(parents で)両親

busy [bízi]
忙しい

play the drums
[drʌmz]
ドラムを演奏する

math [mæθ]
数学

③ 3 単現も過去形も、疑問文・否定文になると動詞は**原形**になる。

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.10

1 次の文の下線部と同じ発音を持つ語を下から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) My brother looked at the table. []
 (2) We listened to the radio. []
 (3) They needed a network of computers. []
 (4) Judy read English books. []

ア wanted イ liked ウ played エ red オ meet

2 次の文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

(1) Bob waits for his friends. (過去の文に)

(2) We were in Seoul last week. (否定文に)

(3) They built that big house. (疑問文に)

(4) Ken was studying English then. (下線部をたずねる疑問文に)

3 左の表は、ある男子中学生(Takeshi)のきのうの行動です。この表に合うように、次の質問に()内の語数の英語で答えなさい。ただし、数字も英語で書くこと。

8:20	登校
5:00	帰宅
	ギターの練習
6:00	夕食
	テレビ
	英語の勉強
10:00	就寝

(1) Was Takeshi absent from school yesterday? (3語)

(2) What was Takeshi doing from 5 to 6 yesterday? (5語)

(3) Did Takeshi study English yesterday? (3語)

(4) What time did Takeshi go to bed yesterday? (6語)

HELP



① (1)~(3) ed の前の音で区別する。(3) a network of ~ 「~のネットワーク」 (4) read は主語が **Judy** なのに 3 単現の **s** がついていない。だから、**過去形**。

② (1) wait for ~ 「~を待つ」 (3) built は build の過去形。(4) English を what にかえる。

③ (1) absent [æbs(ə)nt] 「欠席している」 (2) 「~を練習する」は practice ~ (4) What time ~ ? は時刻をたずねる疑問文。「~時に」は **[at +時刻]** で表す。

7

未来の文

問題にチャレンジ

- 1 Yuki **studies** English tomorrow.
由紀はあす英語を勉強するでしょう。
- 2 **Does** Makoto **come** home at six?
誠は6時に帰宅しますか。
- 3 He'll be busy **tomorrow**.
彼はあす忙しいだろう。
- 4 (a) The boy **is going to go** to school.
(b) The boy **is going** to school now.

問 下線部を正しい形にせよ。

→ 1

問 未来の文にせよ。

→ 2

問 下線部をたずねる疑問文にせよ。

→ 2

問 日本語になおせ。

→ 3



1 未来の助動詞 will

「あすは雨でしょう」、「次の日曜日は英語を勉強するつもりです」など、まだ起こっていない未来のことを述べる文には、助動詞 **will** を使う。**will** は動詞の前につける。また、will を使った文では動詞は常に**原形**にする。つまり、3単現の s などをつけてはいけなし、be 動詞なら原形の be を使う。

必修文例

〔現在〕 She **reads** the book. (彼女はその本を読みます)

will + 動詞の原形(3単現の s をとる)

〔未来〕 She **will read** the book. (彼女はその本を読むでしょう)〔現在〕 She **is** ten years old. (彼女は10歳です)

will + 動詞の原形(原形の be にする)

〔未来〕 She **will be** ten years old. (彼女は10歳になるでしょう)

ポイント

未来の文は **will + 動詞の原形** { ① ~するでしょう
② ~するつもりです

1の答 → Yuki **will study** English tomorrow. → studies を原形 study にして、will study にする。

2 未来の疑問文・否定文

will は can と同じ助動詞だから、疑問文・否定文も **can** の場合と同じようにすればよい。
↳ p.7, 38

得点アップのコツ

未来には、①単なる未来を表す「**単純未来**」(~するでしょう)と、②主語の意志を表す「**意志未来**」(~するつもりです)とがある。



Q&A

Q will を訳すとき「~するでしょう」と「~するつもりです」のどちらの訳がいいのでしょうか。

A 天気や年齢などは、人の意志とは関係ないので、**単純未来**として訳します。これ以外は、不自然でなければ、**単純未来**、**意志未来**のどちらで訳してもよいのです。

● He **will** play tennis. (彼はテニスをするでしょう)

疑問文 **Will** he play tennis? (彼はテニスをするでしょうか)

この疑問文に対して答えるときは、will を使って

Yes, he **will**. (はい、するでしょう)

No, he **will not**. (いいえ、しないでしょ)

(または No, he **won't**.)

とする。

否定文は will に not をつけて、

否定文 He **will not** play tennis. (彼はテニスをしないでしょ)

(または He **won't** play tennis.)

とする。

2の答 → **Will** Makoto **come** home at six? (誠は6時に帰宅するでしょうか) → Does を Will にかえる。

3の答 → **When will** he **be** busy? (彼はいつ忙しいでしょうか)

→ tomorrow を when にかえる。He'll は He will の短縮形。

3 be going to で表す未来の文

未来を表す文では、will の代わりに **be going to** を使うことができる。

必修文例 She **will** go to Kyoto next Sunday.

↓ be going to

She **is going to** go to Kyoto next Sunday.

(彼女は次の日曜日に京都へ行くでしょう)

be going to のあとには、will と同じように**動詞の原形**を使う。

ポイント will + 動詞の原形 = **be going to** + 動詞の原形

be going to の疑問文・否定文は、be 動詞の文と同じように考えればよい。

● He **is going to** wash the car. (彼は車を洗うでしょう)

疑問文 **Is** he **going to** wash the car? (彼は車を洗うでしょうか)

→ Yes, he is. / No, he isn't.

(はい、洗うでしょう) (いいえ、洗わないでしょう)

否定文 He **isn't going to** wash the car.

(彼は車を洗わないでしょう)

4の答 → (a)「その男の子は学校へ行くでしょう」(b)「その男の子は今学校へ行くところです」→(a)は is going to のあとに**動詞の原形**があるから未来の文、(b)は school(名詞)が来ていて now があるから現在進行形。

ここに注意

will not の短縮形は won't [wɒnt] だ。発音にも気をつけよう。

be going to の **be** は、「be 動詞 am, are, is のどれか」という意味。

Q&A

Q will と be going to のちがいはありますか?

A will は、

人の意志とは関係のない**単純未来**(~するでしょう)、その場で思いついた「**意志**」を表す。

be going to は、

前兆や気配があり、起こりそうな「**近い未来**」や、前から思っていた「**予定・計画**」(~するつもりです、~しようとしています)を表す。



基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.10

① 次の文に()内の語句を加えて、(a)では **will** を、(b)では **be going to** を使った文に書きかえなさい。

- (1) I get up at seven. (tomorrow morning)
(a) _____
(b) _____
- (2) Mike meets his aunt. (next Monday)
(a) _____
(b) _____
- (3) It is fine. (tomorrow)
(a) _____
(b) _____

② 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) 私はあなたを手伝うつもりです。
I _____ you.
- (2) 父はまもなく帰宅する予定です。
My father _____ home soon.
- (3) 母は次の土曜日に車を洗うでしょう。
My mother is _____ to wash her car _____ Saturday.
- (4) ビルはあす京都を訪れるでしょう。
Bill _____ visit Kyoto _____.
- (5) 私たちは放課後泳ぐつもりです。
We _____ going to swim _____ school.

③ 日本文の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 私は1人で家に帰るつもりです。
(to, home, going, go, myself, I'm, by).

- (2) 私たちはブラウン先生に会うつもりはありません。
(are, Mr. Brown, not, going, we, to, see).

- (3) ボブは日本語を一生けんめい勉強するだろうか。
(hard, Bob, study, will, Japanese)?

HELP

- ① (1) tomorrow morning 「あすの朝」
(2) next Monday 「次の月曜日」
(3) **is** の原形は **be** である。

単語

fine [fain ファイン]
晴れた

- ② いずれも **will** か **be going to** を使う。
(2) 「帰宅する」 come home

単語

soon [su:n]
まもなく

- ③ (1) 「1人で」
by oneself
(3) 疑問文なので、**will** が文のはじめにくる。
「一生けんめい」(hard) は、文の終わりに置く。

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.10

1 次の文を (a) 疑問文, (b) 否定文にそれぞれ書きかえなさい。

(1) Ms. Yoshida will be busy tomorrow.

(a) _____

(b) _____

(2) My father is going to exchange e-mail with my uncle.

(a) _____

(b) _____

2 正しい英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。ただし、各組とも不要な語句が1つずつあります。

(1) Yumi (here, in, come, comes, ten minutes, will).

(2) Jun (for, going, New York, be, to, is, leave) tomorrow.

(3) My (math, brother, after, will, going, not, study) dinner.

(4) (baseball, friends, playing, school, will, after, your, play)?

(5) (to, to, going, sisters, your, is, sister, write, a letter) Tom?

3 ()内の語を使って、次の文を英語になおしなさい。

(1) 弟は来年13歳になります。(will)

(2) 私はあす彼女に会うつもりです。(to, see)

(3) あなたは次の土曜日テニスをするつもりですか。(to)

HELP



1 (1)は will に、(2)は be 動詞に着目して書きかえる。exchange [ɪkstʃeɪndʒ] e-mail 「Eメールを交換する」

2 (2)leave for ~ 「~へ出発する」 (4) **be** 動詞の文には **be** 動詞で、**will** の文には **will** で答える。

3 (2)「会う」 see (3)「次の~」 next ~

8

助動詞



問題にチャレンジ

1 I **can't** speak French. 私はフランス語が話せません。

問 過去の文にせよ。 → 1

2 You **must** get up at six.
あなたは6時に起きなければなりません。

問 過去の文にせよ。 → 2

3 (a) You **must not** go to the park.

(b) You **don't have to** go to the park.

問 下線部に注意して日本語になおせ。 → 2

4 You _____ the box.
その箱を開けてもいいですよ。

問 _____に適切な1語を入れよ。 → 3

1 助動詞 can — 能力, 許可, 依頼, 推量

can (過去形は could) には次のような用法がある。

① 「～することができる」 [能力]

I **can** see the top of the mountain.

(私はその山の頂上を見ることができます)

能力を表す **can** は **be able to** で置きかえられる。

= I **am able to** see the top of the mountain.

(私はその山の頂上を見ることができます)

② 「～してもよい」 [許可]

You **can** go home now. (あなたはもう家に帰ってもいいですよ)

相手に許可を求めるときは, **Can I ~?** を使う。

Can I ask you a few questions? (2, 3 質問をしてもいいですか)

③ 「～してくれませんか」 [依頼]

Can you open the door for me?

(私のためにドアを開けてくれませんか)

④ **can't** 「～のはずがない」 [否定の推量]

He **can't** be a teacher. (彼は教師であるはずがない)

1の答 → I **could not** [couldn't] speak French. (私はフランス語が話せませんでした)

もっとくわしく

助動詞には will, can の他に must, may, shall などがある。助動詞がふくまれている文の疑問文, 否定文のつくり方は can, will の場合とまったく同じである。

【ふつうの文】

主語 + 助動詞 + 動詞の原形 ~.

【否定文】

主語 + 助動詞 + **not** + 動詞の原形 ~.

【疑問文】

助動詞 + 主語 + 動詞の原形 ~?

だんだん
むずかしくなってきたね。でも,
You must not
give up!



2 助動詞 must — 義務, 強い禁止, 推定

must には次のような用法がある。

① 「～しなければならない」 [義務]

I **must** help my mother. (私は母を手伝わなければならない)

義務を表す **must** は **have to** で置きかえられる。

また、**must**には過去形がないので**had to**で代用する。

He **had to** carry the box yesterday.

(彼はきのう、その箱を運ばなければならなかった)

② **must not** 「～してはいけない」 [強い禁止]

You **mustn't** swim in the lake. (その湖で泳いではいけません)

have to の否定 **don't have to** は「～する必要はない」という意味で、must not のような[強い禁止]の意味はない。

You **don't have to** go. (あなたは行く必要がありません)

must = **have [has] to** (～しなければならない)

mustn't ≠ **don't [doesn't] have to**

(～してはいけない) (～する必要はない)

③ 「～にちがいない」 [推定]

He **must** be a doctor. (彼は医者にちがいない)

②の答 → You **had to** get up at six. (あなたは6時に起きなければならなかった)

③の答 → (a)「あなたは公園へ行ってはいけません」

(b)「あなたは公園へ行く必要はありません」

3 助動詞 may — 許可, 推量

may には次のような用法がある。

① 「～してもよい」 [許可]

You **may** swim from now. (君たちは今から泳いでもよろしい)

② 「～かもしれない」 [推量]

It **may** snow. (雪が降るかもしれません)

④の答 → may [または can], open

4 助動詞に関連する重要表現

重要表現	訳	ポイント
Will you ~ ?	① ~してくれませんか ② ~しませんか	①は相手(= you)に頼む ②は相手をさそう
Shall I ~ ?	(私が) ~しましょうか	Shall I open the door? なら、開けるのはI
Shall we ~ ?	(私たちが)~しましょうか [= Let's]	答え方は Yes, let's. / No, let's not.
should	~すべきである	shall の過去形だが、 現在の意味を表す
had better	~するほうがよい	現在の意味を表す 目上の人には使わない

shall は will と同じ未来を表す助動詞だが、使われるのは Shall I ~ ? と Shall we ~ ? だけだ(これ以外の shall は高校で学ぶ)。

得点アップのコツ

助動詞を書きかえる問題で重要なのは次の3つである。

will = **be going to**

can = **be able to**

must = **have to**

must の疑問文

Must I ~ ?

に答える文は肯定のとき

Yes, you must.

否定のとき

No, **you don't have to**. となる。

No, **you must not**. としないように注意する。

もっとくわしく

助動詞は、1つの動詞につき1つまでしか使えない。

だから、I ~~will can~~ go. などとしてはいけない。

can の未来形は

→ **will be able to**

must の未来形は

→ **will have to**

ここに注意

Will you ~ ? は34ページで扱った単純未来や意志未来で使われるよりも、相手に頼んだり、相手をさそったりするときに使われることが多い。

Will you wash the car?

(車を洗ってくれませんか)

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.11

① 日本文の意味を表すように、下から適当な語句を選んで____に書きなさい。

- (1) 私たちはアジアについて多くを学ぶべきだ。
We _____ learn a lot about Asia.
- (2) 山田さんは家族のために熱心に働かなければならない。
Mr. Yamada _____ work hard for his family.
- (3) あなたはすぐにそこへ行くほうがよい。
You _____ go there at once.
- (4) 今テレビを見てもいいですか。
_____ I watch TV now?

should may must had better

② 次の疑問文に、()内の語を使って答えなさい。

- (1) Can she play the piano well? (Yes)

- (2) May I use this computer? (No)

- (3) Must I read this book? (Yes)

③ 次の文を下線部に注意して日本語になおしなさい。

- (1) Will you open the window?
(_____)
- (2) Shall I open the window?
(_____)
- (3) Shall we play tennis? — Yes, let's.
(_____)
- (4) You must not swim in the river.
(_____)
- (5) You don't have to run today.
(_____)

HELP

① **had better** は、この2語で1つの助動詞と考える。助動詞のあとの動詞は原形。

単語

a lot

多く(のこと)

Asia [éiʒə エイジア]

アジア

hard [hɑ:rd]

熱心に

at once

すぐに

② 助動詞を使った問いには、ふつう助動詞を使って答える。

単語

well

上手に

use [ju:z ユーズ]

使う

③ (1) Will you ~ ? は相手 (= you) に頼む表現である。
(2) openするのはI(私)である。

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.11

① 次の文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) Emi can ride a bike. (同じ内容の文に)
Emi _____ ride a bike.
- (2) We must answer the question. (過去の文に)
We _____ answer the question.
- (3) Mrs. Smith can drive a car very well. (過去の文に)
Mrs. Smith _____ a car very well.
- (4) Must I stay at home? (答えの文を書け)
Yes, you _____. / No, you _____.

② 次の文の____に、**Shall** または **Will** を入れなさい。また、答えの文を下から選んで書きなさい。

- (1) _____ you wash the glasses? [答えの文] _____
- (2) _____ I help your homework? [答えの文] _____
- (3) _____ we go to the zoo? [答えの文] _____
- (4) _____ you be free tomorrow? [答えの文] _____

Yes, let's. No, I won't. Yes, please. All right.

③ 日本語の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。ただし、各組とも不要な語が1つずつあります。

- (1) 手伝ってくれませんか。
(me, may, you, will, help)?

- (2) 兄はウクレレを弾くことができます。
(the, is, play, my, to, able, brother, can, ukulele).

- (3) 電車の中では静かにする必要があります。
(must, could, you, be, in, quiet, trains).

- (4) 彼は40歳をこえているはずがない。
(be, he, old, over, cannot, years, must, forty).

HELP ① (1) can を 3 語にする。(2) **must** は **have to** と同じ意味。(4) No のほうの答え方に注意。



② Yes, please. 「はい、お願いします」 / All right. 「わかりました」

③ (1) 「手伝う」 help (2) the は「楽器」の前につける。(3) 「静かにする」 be quiet

定期テスト予想問題2

時間 20分
解答 → 別冊 p.11

得点	/ 100
----	-------

1 ()内の語句を加えて、次の文を書きかえなさい。

(16点 = 4点 × 4)

- (1) You are not in the classroom. (then)

- (2) My brother goes to a museum. (tomorrow)

- (3) Yuri and Keiko study Chinese. (last Monday)

- (4) Did Tom wait for his friends here? (every day)

2 次の文が正しい英文となるように、()内から正しい語句を選び○で囲みなさい。

(16点 = 3点 × 5)

- (1) Did they (go, goes, went) to the station yesterday?
- (2) You (are, were, have) writing a letter at that time.
- (3) Hiroki (must, have, has) to get up at six.
- (4) Judy (isn't, doesn't, didn't) study Japanese last night.
- (5) It may (is, be, have) rainy tomorrow.

3 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(16点 = 4点 × 4)

- (1) 私は来週大阪を訪れるつもりです。
I _____ visit Osaka _____ week.
- (2) 久美はそのとき何をしていましたか。
_____ Kumi doing _____?
- (3) 私を劇場へ連れて行ってくれませんか。
_____ take me to the theater?
- (4) すわってもよろしい。しかし、騒いではいけません。
You _____ sit down, but you _____ make a noise.

4 各組の文が同じ意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(15点 = 5点 × 3)

- (1) { Will they study English in Australia?
_____ they _____ to _____ English in Australia?
- (2) { Sachiko can ski very well.
Sachiko _____ _____ ski very well.
- (3) { Shall we go to the concert?
_____ _____ to the concert.

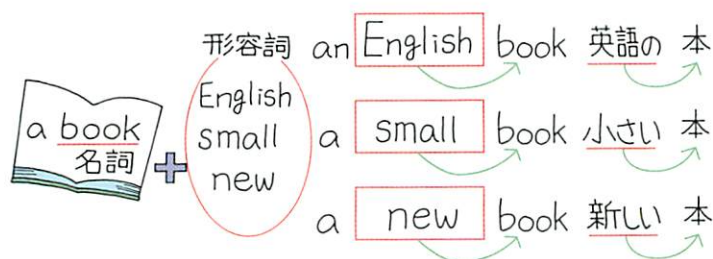
わかるゼミ3

形容詞・副詞の働き

■ 名詞を修飾するのが「形容詞」

「本」は名詞だ。でも、ただ「本」と言われただけでは、一体どんな本だかよくわからない。英語の本なのか、大きい本なのか、古い本なのかさっぱりわからない。

つまり、「本」という名詞だけではうまく表現できないことが多い。そこで、名詞を説明する言葉が必要になってくるんだ。



このように、名詞(または代名詞)を修飾する言葉が**形容詞**だ。形容詞には、次の種類がある。

① 性質や状態を表すもの	beautiful(美しい), kind(親切な), large(大きい), strong(強い), good(よい), blue(青い), old(古い)など
② 数量を表すもの	many(多数の), much(多量の), some(いくつかの), few(少数の, 少ししかない), little(少量の, 少ししかない)など
③ 代名詞を形容詞に使ったもの	this(この), that(あの), all(すべての), what(何の)など

■ 名詞以外のものを修飾するのが「副詞」

形容詞が名詞を修飾、説明するのに対し、名詞以外の動詞・形容詞や他の副詞を修飾、説明する言葉が**副詞**だ。

Ken runs **fast**. (健は**速く**走る)
(動詞) 副詞

得点アップのコツ

【形容詞の位置】

形容詞は直接、名詞(または代名詞)の前につけて、名詞(代名詞)を修飾するのに使われる。

ただし、**something** のように、**-thing** で終わる語を修飾するときはそのあとに置かれる。

something hot
(何か熱いもの)



もっとくわしく

日本語の形容詞は言い切る形が「い」で終わる。だから、英語を訳してみて、美しい、小さいなど「い」で終われば形容詞と考えてよい。ただし、

英語の(English)本 小さな(small)ラジオなど、日本語になおすと「の」や「な」などで終わる語も、英語では形容詞なので、注意が必要だ。

前ページの文では、fast(速く)が動詞 run(走る)を修飾している。だから fast は副詞なんだ。

That is a **very** long bridge. (あれは**とても**長い橋です)
副詞 (形容詞) (名詞)

上の文では very が形容詞 long を修飾しており、very は副詞だ。
また、形容詞にも副詞にも使える言葉もある。たとえば、前に出た He runs fast. の fast は副詞だが、次の文の

This is a **fast** car. (これは**速い**車です)
形容詞 (名詞)

fast は名詞 car を修飾しており、形容詞である。
副詞には次のような種類がある。

① 時・頻度を表すもの	before(以前に), ago(~前に), now(今), then(そのとき), often(たびたび), sometimes(時々), always(いつも), usually(たいてい)
② 場所を表すもの	here(ここに), there(そこに), away(離れて)
③ 程度・状態を表すもの	very(とても), much(たいへん), fast(速く), almost(ほとんど), enough(十分に), well(よく)

形容詞・副詞の語形は変化する

「この車はあの車より速い」と言うときは、fast に er をつけて faster にする。このように、形容詞や副詞に er をつけた形は、2つのものを比較するのに使うから**比較級**と言う。

また、3つ以上のもの中から「最も～」の意味を表すには est をつける。たとえば、10台の車の中で「この車が最も速い」なら「最も速い」は the **fastest** とするんだ。この est のついた形を**最上級**と言う。

最上級や比較級に対して、er, est のついていないもとの形を**原級**と言う。

(原級) (比較級) (最上級)
fast(速い) faster(より速い) fastest(最も速い)



形容詞や副詞は er, est をつけるとパワーアップするんだ。

得点アップのコツ

〔副詞の位置〕

形容詞を修飾する副詞は**形容詞の前に**、動詞を修飾する副詞は**動詞のあと**にくる。だが、頻度を表す副詞 always, usually, often, sometimes, never は、**一般動詞の前**、**be 動詞のあと**につける。
副詞を修飾するのも副詞。

He studied **really** hard.
副詞 (副詞)

(彼は本当に一生けんめい勉強した)

ここに注意

英語は語順がとても重要だ。
↳ 単語を並べる順序

日本語では「花子は犬を飼っている」の語順を入れかえて、「犬を花子は飼っている」としても意味はほぼ同じである。

ところが、英語では語順によって主語や目的語が決まるので、たとえば

Hanako has a dog. を A dog has Hanako. とすると、「犬は花子を飼っている」という変な意味になってしまう。



9

形容詞・副詞



問題にチャレンジ

1 He had (a few, few, a little, little) money.

彼はお金を少ししか持っていませんでした。

2 We took a (many, much, lot of) pictures.

私たちは多くの写真を撮りました。

3 There are some apples on the table.

テーブルの上いくつかのりんごがあります。

問 ()内から適当なものを選び。

→ 1

問 ()内から適当なものを選び。

→ 2

問 下線部を apple にかえよ。

→ 3

1 「少ししかない」と「少しある」

数が少ないことを表すときは **a few, few** を複数形の数えられる名詞の前に、また、量が少ないことを表すときは **a little, little** を数えられない名詞(物質名詞)の前につける。few も little も冠詞の **a** のないときは「ほとんどない」(否定)の意味を表すが、**a** のあるときは「少しある」(肯定)の意味を表す。

必修文例

I have **a few** books. (私は少し本を持っています)
 I have **few** books. (私は少ししか本を持っていません)
 We had **a little** water. (私たちには水が少しありました)
 We had **little** water. (私たちには水が少ししかありませんでした)

	少しある	少ししかない[ほとんどない]
複数形の名詞	a few	few
物質名詞	a little	little

1 の答 → **little** → money は物質名詞。また、「持っていないかった」と否定の意味を表している。

2 ポイントになる形容詞 — many, much, some, any, no

many と much はどちらも「たくさん」、「多くの」という意味であるが、数えられる名詞には **many** を使い、数えられない名詞には **much** を使う。**a lot of** も「たくさん」、「多くの」という意味で、こちらは数えられる名詞にも数えられない名詞にも使う。many も much も a lot of に書きかえることができる。

もっとくわしく

few も **little** も、「少ししかない」と数量を表す形容詞だ(little にはもちろん「小さい」という意味もある)。形容詞だから、名詞の前に置かれる。しかし、**little** と **a little** は副詞として使われることも多い。

She eats very **little**.
 (彼女は少ししか食べない)
 She eats **a little**.
 (彼女は少しは食べる)

ここに注意

have は「～がある」と訳すと自然な日本語になることも多い。

many
 (数) → **a lot of**
 (数・量)
much
 (量)

{ many students
 (多くの学生)
 = a lot of students
 { much snow
 (たくさん雪)
 = a lot of snow

また、some と any はどちらも「いくつかの」、「いくらかの」と訳す。some は肯定文に、any は疑問文・否定文に使う。any が否定文で not ~ any の形で使われるとき、「少しも[1つも]~ない」と強い否定を表し、no ~(少しも~ない)の形で書きかえられる。

必修文例

She had **some** pencils. (彼女は何本かの鉛筆を持っていました)

→ She didn't have **any** pencils. (彼女は鉛筆を1本も持って
= She had **no** pencils. いませんでした)

数量を表す形容詞を整理しておこう。

数えられる名詞に使う	数えられない名詞に使う	意味
a few	a little	少しある
few	little	少ししかない
many	much	多くの
a lot of	a lot of	
some	some	} いくつかの } いくらかの
any	any	
no	no	少しもない

2の答 → lot of → pictures は、数えられる名詞の複数形。()の前にながあるので a lot of で「多くの」の意味を表す。

3 There is [are] ~./ Here is [are] ~.

● there は「そこに[で]」という意味の副詞であるが、**There is [are] ~.** の形で使われるときは、「~がある[いる]」という意味になる。この場合の there は訳さない。

必修文例

There **is a desk** in the room. (部屋の中に机があります)
└─単数 └─主語

There **are desks** in the room. (部屋の中に机があります)
└─複数 └─主語

また、疑問文や答えの文では、there を主語のように使う。

Is there a knife in the kitchen? (台所にナイフがありますか)

→ Yes, **there is**. (はい、あります)

No, **there isn't**. (いいえ、ありません)

● **Here is [are] ~.** は「ここに~がある」の意味を表す。

Here is a book. (ここに本があるよ)

Here are two stamps. (ここに2枚の切手があります)

3の答 → **There is an apple on the table.** (テーブルの上りんごが1つあります) → apple は母音で始まる名詞。are を is にかえるのも忘れないこと。

もっとくわしく

p.19で扱った疑問詞のうち who(だれ), what(何), which(どちら)を疑問代名詞と言い、when(いつ), where(どこ), why(なぜ), how(どうやって)を疑問副詞と言う。また、名詞の前にもつく what(どんな), which(どちら)は疑問形容詞。つまり疑問詞といっても、代名詞か副詞か形容詞なのだ。

もっとくわしく

ふつう There is [are] ~ は不特定な人やものの存在を表す。

(○) There is **a pen** on the desk. → 不特定なペン
特定なもの(the, my, your, Ken's など)は主語にはしない。

(×) There is **my pen** on the desk. → 特定なペンでは、「私のペンは机の上にあります」はどのように言うのか。この場合は

(○) **My pen is** on the desk.

このように、主語 + be 動詞 + (場所)で表す。

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.12

① 日本文の意味を表すように、()内から正しいものを選びなさい。

- (1) 昼食までに少し時間があります。
We have (a few, a little, little) time before lunch.
- (2) 先月は雨が多かった。
We had (many, a lot, a lot of) rain last month.
- (3) 教室にはほとんど生徒はいませんでした。
There were (a few, few, a little, little) students in the classroom.
- (4) あなたは何本かペンを持っていますか。
Do you have (some, any, many) pens?
- (5) 涼子はとても上手にバイオリンを弾くことができます。
Ryoko can play the violin very (much, well, good).

② 次の文を、下線部に注意して日本語になおしなさい。

- (1) There is a radio on the desk.
()
- (2) Here are some books.
()
- (3) My father is in Sydney.
()
- (4) This computer is not very good.
()
- (5) They don't have any children.
()

③ 日本文の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 洋子は何か奇妙なことを言った。
(strange, said, Yoko, something).

- (2) トムはよく自分の部屋でコンピューターゲームをします。
(in, plays, computer games, Tom, his, often, room).

HELP

① (1)~(3)()のあとの名詞が複数形かどうかを考える。
複数形なら数えられる名詞である。

② (3) Sydney 「シドニー(オーストラリアの都市名)」
(4) very は否定文では「あまり~(ない)」と訳す。
(5) not ~ any 「1人も[少しも]~ない」

③ (1) something に形容詞をつけるときは「something + 形容詞」の語順にする。
(2) often の位置は、一般動詞の前、be 動詞のあと。

単語

strange [streɪndʒ]
ストゥレインヂ
奇妙な

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.12

1 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) 箱には2, 3個りんごがありました。
There _____ a _____ apples in the box.
- (2) 健はポケットに少ししかお金を持っていませんでした。
Ken _____ money in his pocket.
- (3) 私は日曜日にはいつも家にいるとはかぎりません。
I am _____ at home on Sunday.
- (4) 中国語を上手に使うことができる日本人はほとんどいません。
_____ can use Chinese well.

2 次の文を、()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) There is a CD on the table. (aをtwoに)

- (2) Here are many tickets. (manyを別の3語で言いかえて)

- (3) I have no pencils now. (anyを使って同じ意味を表す文に)

- (4) There are some girls in the garden. (疑問文に)

3 例にならって、次の文の誤りを正しなさい。ただし、太字の部分は正しいものとする。

- 例 There are little **oranges** in the box. little → few
- (1) Here is your **pens**. _____ → _____
- (2) Were there some **books** on the desk? _____ → _____
- (3) I saw **a lot of** bird in the park yesterday. _____ → _____
- (4) There is red **something** in the sky. _____ → _____
- (5) **How many books** there are in the library? _____ → _____
- (6) Andy is a well soccer **player**. _____ → _____

HELP **1** (2) money は量(数えられない)を表す名詞。(3)「いつも～とはかぎらない」は not ~ always で表す。



2 (2) ticket 「チケット, 切符」 (3)「no + 名詞」は「1つも～ない」の意味なので not ~ any に書きかえる。(4) garden 「庭」

3 (4)(5) 語順(単語の順序)をなおす。(6) well は「よく」(副詞)である。形容詞「よい」は?

10 比較

問題にチャレンジ

1 small, nice, happy, big, interesting

小さい よい 幸福な 大きい おもしろい

2 This book is **as interesting as** that book.

この本はあの本と同じくらいおもしろい。

3 Tom can run **fast than** Bob.

トムはボブより速く走ることができます。

4 Beth is tall. ヘスは背が高い。

問 各語の比較級・最上級を作れ。

→ 1

問 否定文にして日本語になおせ。

→ 2

問 下線部を正しい形にせよ。

→ 3

問 in her class をつけて最上級の文にせよ。

→ 4

1 比較級・最上級の作り方

形容詞・副詞に **er, est** をつけると比較級、最上級になる。

〔原級〕 〔比較級—er〕 〔最上級—est〕

long(長い) — longer(より長い) — longest(最も長い)

old(古い) — older(より古い) — oldest(最も古い)

ただし、次のものは例外だ。

① e で終わる語 → **r, st** だけをつける

large(大きい) — larger — largest

② 「子音字 + y」で終わる語 → **y** を **i** にかえて **er, est** をつける

easy(やさしい) — easier — easiest

③ 「1母音字 + 1子音字」で終わる語 → 子音字を重ねて **er, est**

big(大きい) — bigger — biggest

④ 長い語(だいたい6～7文字以上) → 前に **more, most** をつける

beautiful(美しい) — more beautiful — most beautiful

1の答 → small — smaller — smallest nice — nicer — nicest

happy — happier — happiest big — bigger — biggest

interesting — more interesting — most interesting

2 as + 原級 + as ~ (～と同じくらい…)

as + 原級 + as ~ の形で、「～と同じくらい…」の意味になる。否定文 **not as + 原級 + as ~** は「～ほど…ない」の意味になる。

She is **as tall as** he. (彼女は彼と同じくらい背が高い)

as + 原級 + as

She is **not as tall as** he. (彼女は彼ほど背が高くない)

not as + 原級 + as ~

原級 = もとの形

比較級 = 「より～」の意味で2つを比べる形

最上級 = 「最も～」の意味で3つ以上の中で、最上であることを表す形

得点アップのコツ

不規則に変化する例

good
よい better — best
well
よく, 上手に

many
多くの more — most
much
多くの

bad
悪い worse — worst
badly
悪く
ill
病気の, 悪く

little — less — least
量が少しの, 少し

2の答→ This book **isn't** [is not] as interesting as that book.
 (この本はあの本ほどおもしろくない)

3 比較級 + than ~ (~より…)

比較級は **than** といっしょに使うことが多い。

Mike is **taller than** you. (マイクは君より背が高い)
比較級 + than ~

ポイント A ~ + 比較級 + **than** B. = 「AはBより…」

2つの間の差を表すときは、比較級の前に差を表す表現を置く。

Ken is **three years older** than Nancy.
 (健はナンシーより3歳年上だ)

3の答→ **faster** → Tom と Bob を比べる文。than の前の fast は比較級。

4 the + 最上級 + in [of] ~ (~の中で最も…)

3つ以上のものの中で「最も」の意味を表すのが最上級である。最上級には **the** をつける。

必修文例 Mike is **the tallest in** his class.
the + 最上級 + in + 単数名詞
 (マイクはクラスの中で最も背が高い)

Mike is **the tallest of** the three.
the + 最上級 + of + 複数名詞
 (マイクはその3人の中で最も背が高い)

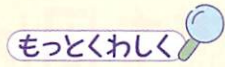
最上級を使って、「2番目」「3番目」という表現も覚えよう。これには、**second, third, fourth**…の序数を使う。

Tom is **the second tallest** boy in his class.
 (トムはクラスの中で2番目に背の高い少年です)

4の答→ Beth is **the tallest** in her class. (ベスは(彼女の)クラスで最も背が高い) tall を **tallest** にして、その前に **the** をつける。

5 書きかえ公式

- ① A ~ **not as** + 原級 + **as** B ⇔ B ~ + 比較級 + **than** A
 Tom can **not run as fast as** Bill. ⇔ Bill can run **faster than** Tom.
 (トムはビルほど速く走れない) (ビルはトムよりも速く走ることができる)
- ② A ~ + 比較級 + **than any other** B ⇔ A ~ **the** + 最上級 + B
 Ken is **taller than any other** boy. ⇔ Ken is **the tallest** boy.
 (ケンは何の少年よりも背が高い) (ケンは最も背の高い少年です)
- ③ 「**No (other) + 名詞の単数**」を使って表すことができる。
No other boy is as tall as Ken. (ケンほど背の高い少年はほかにいない)
 = **No other boy is taller than** Ken. (ケンよりも背の高い少年はほかにいない)



as + 原級 + as ~ の前に
 twice (2倍)
 three times (3倍)
 four times (4倍)
 …

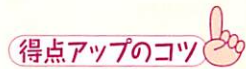
をつけると、「~の〇倍の…」という表現ができる。

This is **three times as long as** that.

(これはあれの3倍の長さだ)

This house is **half as big as** that one.

(この家はあの家の半分の大きさだ)



which (どちら), 比較級, or を使う次のような表現もある。

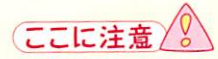
Which is easier, this book or that book?

(この本とあの本では、どちらがやさしいですか)

差を表す表現を **by** を使って後ろにもってくることもできる。

Ken is older **than** Nancy **by** three years.

● ~の中で
 { in + 単数名詞
 { of + 複数(の内容の)名詞



形容詞の最上級には必ず **the** をつけるが、副詞の最上級には **the** をつけないこともある。

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.13

HELP

① 長い単語(= だいたい6～7文字以上)は **more, most** をつける。短い単語で **ful, ous, ly** で終わっているものは, **more, most** をつけて比較級・最上級を表すことが多い。

② **as ... as** があれば**原級**, **than** があれば**比較級**, **the** や **in [of]** があれば**最上級**の文である。
(2) of the four 「その4人の中で」
(4) **of** のあとは**複数形**または**複数の内容の名詞**, **in** のあとは**単数形**の名詞。

③ (1) 比較級の文である。
(2) much (ずっと～) は比較級を強める働きをする。
(3) X times as ... as ～, 「～のX倍…」
that one = that river

単語

sang [sæŋ サング]
sing(歌う)の過去形

① 次の語の意味を()内に書き, その比較級・最上級を順に____
に書きなさい。

- (1) young () _____
- (2) long () _____
- (3) busy () _____
- (4) early () _____
- (5) bad () _____
- (6) short () _____
- (7) pretty () _____
- (8) hot () _____
- (9) good () _____
- (10) beautiful () _____
- (11) famous () _____

② 次の文が正しい英文になるように, ()内から適当な語を選びなさい。また, 全文を日本語になおしなさい。

- (1) Mike runs (fast, faster, fastest) than Tom.
()
- (2) Taro is the (old, older, oldest) of the four.
()
- (3) Mary is as (tall, taller, tallest) as (I, my).
()
- (4) This is the (big, bigger, biggest) house (of, in) our town.
()

③ 日本文の意味を表すように, ()内の語を並べかえなさい。ただし, 下線部の語はどちらか適当なほうを使いなさい。

- (1) 東京と大阪では, どちらの都市が大きいですか。
(is, which, bigger, biggest), Tokyo or Osaka?
_____, Tokyo or Osaka?
- (2) トムはマイクよりずっと上手に歌いました。
Tom sang (Mike, than, much, better, best).
Tom sang _____.
- (3) その川はあの川の3倍の長さです。
The river is (as, times, three, longer, long) as that one.
The river is _____ as that one.

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.13

1 右の絵を見て身長を比べ、次の文の _____ に適当な1語を入れなさい。

- (1) I am _____ my mother.
- (2) I am _____ as my father.
- (3) I am _____ my sister.
- (4) My sister _____ as I.
- (5) My mother isn't as _____ my father.
- (6) My mother is _____ my sister.
- (7) My father is _____ my family.
- (8) My father is much _____ my sister.



妹 私 母 父

2 日本文の意味を表すように、 _____ に適当な1語を入れなさい。

- (1) これはアメリカで最も有名な話の1つです。
This is one of _____ stories in the USA.
- (2) ビルは私ほど速く泳ぐことができません。
Bill _____ swim _____ as I.
- (3) レコードとCDでは、あなたはどちらが好きですか。
_____ do you like _____, records _____ CDs?
- (4) 中国は日本の25倍の広さです。
China is twenty-five _____ large _____ Japan.

3 各組の文が同じ内容を表すように、 _____ に適当な1語を入れなさい。

- (1) I am not as busy as he.
= He is _____ I.
- (2) Tom and Mike are fourteen years old.
= Tom is _____ Mike.
- (3) Tom is younger than Betty.
= Betty is _____ than Tom.
- (4) Mt. Fuji is higher than any other mountain in Japan.
= Mt. Fuji is _____ in Japan.

HELP ① 身長が同じなら **as ~ as**. A > B なら **A + 比較級 + than B**, A < B なら **A not as ~ as B**



② (1) famous [féiməs] (有名な) は more, most をつける。(3)「~のほうが好きだ」は **like ~ better**.

③ (1)「A not as ~ as B」は「B + 比較級 + than A」と同じ。(3) younger の反対は？
(4) 最上級の文にする。

11

命令文；
How [What] ～！

問題にチャレンジ

- 1 You **look** at this picture.
あなたはこの写真を見ます。
- 2 You **don't** go out.
あなたたちは外へ出ない。
- 3 Yoko swims **very fast**.
洋子はとても速く泳ぎます。
- 4 It is a **very interesting** game.
それはとてもおもしろいゲームです。

問 命令文になおせ。 → 1

問 命令文になおせ。 → 2

問 How を使った感嘆文になおせ。
→ 3問 What を使った感嘆文になおせ。
→ 4

1 命令文——動詞の原形で始める

「～しなさい」と相手に命令する文を**命令文**と言う。命令文は動詞の**原形**で始まる。主語や助動詞は使わない。

【ふつうの文】 You go to school. (あなたは学校へ行きます)

【命令文】 **Go** to school. (学校へ行きなさい)

命令文に please をつけ加えると「(どうぞ)～してください」というていねいな文になる。please は文のはじめ、または文の最後につけ加える。please を最後につける場合は、その前にコンマが必要になる。

Please come in. (または Come in, **please**.)
↳コンマを忘れるな!!
(どうぞお入りください)

次のように、コンマで区切ったあとに呼びかけの語(名詞)を続けることもある。

Listen to me, **Jack**. (私の言うことを聞きなさい、ジャック)

1の答 → **Look at this picture.** (この写真を見なさい)
↳大文字にする

2 否定の命令文——Don't で始める

「～するな」の意味を表すには、命令文のはじめ、つまり動詞の前に**Don't**をつける。

【ふつうの文】 You don't run here. (あなたはここでは走りません)

【命令文】 **Don't run** here. (ここでは走るな)

2の答 → **Don't go out.** (外へ出るな)

もっとくわしく

be 動詞のある文を命令文にすると、**Be**～. の形になる。たとえば、

You **are** kind.

を命令文にすると

Be kind.

(親切にしなさい)

となる。

また、否定の命令文は

Don't be late.

(遅れるな)

のように**Don't be**～.

の形になる。

命令文に will you? をつけると依頼を表す。

Help me, **will you?**

(手伝ってくれる?)



3 Howを使った感嘆文—How～!

HowやWhatで始まり、文の最後に！(感嘆符)をつけた文を感嘆文と言う。形容詞(または副詞)にHowをつけるだけでもりっぱな感嘆文ができる。

How tall! (なんて背が高いんでしょう)

How + 形容詞!

How fast! (なんて速いんでしょう)

How + 副詞!

次のように、主語と動詞をつけると意味のはっきりした文になる。

How tall you are! (あなたはなんて背が高いんでしょう)

How + 形容詞 + 主語 + 動詞!

How fast he runs! (彼はなんて速く走らんでしょう)

How + 副詞 + 主語 + 動詞!

感嘆文をふつうの文になおすには、主語と動詞を文のはじめに出してHowをveryにかえる。もちろん、感嘆符(!)もピリオド(.)にする。

How tall you are!

You are very tall. (あなたはとても背が高い)

これとは逆に、veryのある文からHow～!の感嘆文をつくるには、上と反対のことをすればよい。

He runs very fast. (彼はとても速く走ります)

How fast he runs!

3の答 → **How fast** Yoko swims! (洋子はなんて速く泳ぐんでしょう)

4 Whatを使った感嘆文—What～!

Whatを使った感嘆文では、Whatのあとの形容詞の後ろに必ず名詞がくっついている。(Howの感嘆文にはこの名詞がない)

What an old book this is!

形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞

(これはなんて古い本なんでしょう)

この文をveryのある文に書きかえると、次のようになる。

→ This is a very old book. (これはとても古い本です)

4の答 → **What an interesting game** it is! (それはなんておもしろいゲームなんでしょう)

感嘆文

How + 形容詞 [副詞] + 主語 + 動詞!

What + 形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞!

得点アップのコツ

感嘆文には必ずビックリマーク!“!(正しくは感嘆符)をつける。感嘆文は、びっくりしたり、感心したりした気持ちを表す文だから、!をつけるんだ。



ここに注意

veryのある文を感嘆文に書きかえるとveryがなくなる。このとき、たとえばa very old bookはwhat **an** old bookとしなければならぬ。
↑母音で始まる単語
感嘆文の書きかえでは**old, easy, interesting**の3つに気をつけよう。

得点アップのコツ

How～!とWhat～!の使い分けは、veryのあとが、

- ① 形容詞(または副詞)だけなら**How**
- ② 形容詞+名詞なら**What**



1 次の英文を参考にして、日本語を英語になおしなさい。

- (1) You read books every day.
毎日本を読みなさい。

- (2) You are a kind boy.
親切な少年でありなさい。

- (3) You must not be noisy here.
ここではうるさくしないで。

2 日本語の意味を表すように、()内の語句を並べかえなさい。ただし、必要に応じてコンマ(,)を補いなさい。

- (1) ベーカーさんは、なんて上手に英語を話すのでしょうか。
(Mr. Baker, English, well, how, speaks)!

- (2) それらの本は、なんて役に立つのでしょうか。
(are, books, what, useful, they)!

- (3) ルーシー、ドアを開けなさい。
(the, Lucy, door, open).

- (4) 携帯電話の電源を切ってください。
(cellular phone, turn, please, off, your).

- (5) 今テレビを見てはいけません。
(watch, now, TV, don't).

3 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) How big that elephant is!
()
- (2) What a beautiful mountain this is!
()
- (3) Don't go out alone at night.
()

HELP 

① 命令文では主語を示さず、**動詞の原形**で始める。
(2) are (be 動詞) の原形は **be**。

② (2) books と複数形なので、名詞に a はつかない。
(3) ルーシー (Lucy) は呼びかけの言葉。
(4) 「～の電源を切る」 turn off ～, 「携帯電話」 cellular phone
[séljələɹ fəʊn]
セリユラ～ フォウン]
(5) Don't で始まる否定の命令文(～するな)である。

命令文 ↔
You must ~
Don't + 命令文 ↔
You must not ~
Please + 命令文 ↔
Will you ~ ?

単語
useful
 [ju:sfəl ユースフル]
 役に立つ

③ (1) elephant
[éləfənt] 「象」
(2) mountain [mauntin]
「山」
(3) alone 「1人で」

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.14

1 各組の文がほぼ同じ意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) { You must start now.
_____ now.
- (2) { You should be quiet in the library.
_____ in the library.
- (3) { Will you take me to Disneyland?
_____ me to Disneyland.
- (4) { You must not play baseball in this park.
_____ in this park.

2 次の文を感嘆文に書きかえなさい。

- (1) Your song is very nice.

- (2) This is a very interesting report.

- (3) Those are very beautiful flowers.

- (4) They study Japanese very hard in Australia.

3 日本語の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。ただし、各組とも不要な語が1語ずつあります。

- (1) これはなんて速いコンピューターなんだろう。
(a, an, is, fast, what, computer, this)!
- _____
- (2) 彼女はなんて上手にテニスをするのでしょうか。
(what, how, she, good, tennis, a, is, player)!
- _____
- (3) 学校に遅れてはいけません。
(doesn't, don't, school, be, for, late).
- _____

HELP

① (1)(2)(4) 命令文 ↔ You must [should] ~ (3) Please + 命令文 ↔ Will you ~ ?



Disneyland [diznɪlənd] 「ディズニーランド」

② (2) interesting は母音で始まることに注意。(3)(4) very のあとを見て How か What かを判断。

③ (3) 「～に遅れる」 be late for ~

12

文構造の基本 (1)



問題にチャレンジ

1 I read a book. His name is Yamada.

私は本を読みました。 彼の名前は山田です。

Bill is kind. Yumi looks happy.

ビルは親切です。 由美は幸せそうです。

2 (showed, pictures, my parents, I, a lot of).

私は両親に多くの写真を見せました。

3 Mother **bought** a watch _____ me.

母は私にうで時計を買ってくれました。

問 文のタイプの異なるものを答えよ。 → 2

問 語句を並べかえて日本語の意味になる英文にせよ。 → 3

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。

→ 4

1 5つの文のタイプ

英文の骨組みになるのは、**主語(S)**・**動詞(V)**・**目的語(O)**・**補語(C)**の4つの要素である。主語と動詞があるすべての英文は、次の5つのタイプのどれかにあてはまる。

① I run. (私は走ります)

S V

② I am a student. (私は学生です)

S V C

③ You make a box. (あなたは箱をつくります)

S V O

④ She gave them some apples. (彼女は彼らにりんごをいくつか

S V O O 与えました)

⑤ He calls the boy Tom. (彼はその少年をトムと呼んでいます)

S V O C

Q&A

Q 「補語」とは何でしょうか。

A 「補語」は、不足している意味を補う語です。「S + V + C」の文型では主語(S)の意味を補い、つけたす働きをします。主語と目的語になるのは名詞(代名詞)ですが、補語は名詞だけでなく形容詞になる場合もあります。

2 「S + V + C」と「S + V + O」

動詞(V)の前と後ろを^{イコール}で結んでも意味が通じる文のタイプは「S + V + C」、意味が通じないときの文は「S + V + O」である。

必修文例

He is a doctor. → he = a doctor (彼 = 医者)

S V C

I play tennis. → I ≠ tennis (私 ≠ テニス)

S V O



基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.14

① 日本文の意味を表すように下から適当な語を選び、____に入れなさい。ただし、それぞれ1回ずつ使うこと。

- (1) 私の妹はきのう病気になりました。
My sister _____ sick yesterday.
- (2) マイクは幸せに見えました。
Mike _____ happy.
- (3) スミス先生はいい先生でした。
Mr. Smith _____ a good teacher.
- (4) 兄は熱心に勉強して弁護士になりました。
My brother _____ hard and _____ a lawyer.

got became was studied looked

② 各組の文がほぼ同じ意味を表す英文になるように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) { He gave his friend a beautiful flower.
He gave a beautiful flower _____ his friend.
- (2) { Bill made me a nice chair.
Bill made a nice chair _____ .
- (3) { She asked him a question.
She asked a question _____ .
- (4) { My friend sent long e-mail to me.
My friend sent me _____ .

③ 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) Will you teach me science?
()
- (2) I will give you this album.
()
- (3) Tom showed us a nice picture.
()
- (4) Our teacher told us an interesting story.
()

HELP

① got は get の過去形。
became は become の過去形。
get 「(変化して)～になる」
become 「(成長して)～になる」

単語

lawyer

[lɔːjə(r) ローヤァ]

弁護士、法律家

② (1)~(3)は、各組の上の文が「S + V + O + O」、(4)は下の文が「S + V + O + O」。

書きかえに必要な前置詞は動詞によって決まる。

buy, make など

→ for

ask のみ

→ of

これら以外

→ to

③ すべて「S + V + O + O」の文。

(1) science [saɪəns サイエンス] 「科学」

(2) album 「アルバム」

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.14

1 次の文の()内に、S・V・O・Cのうち適当なものを入れて文の構造を示しなさい。

- (1) My brother became a musician.
() () ()
- (2) We played baseball yesterday.
() () ()
- (3) Is that girl your sister?
() () ()
- (4) Ms. Yamamoto made me a cup of tea.
() () () ()

2 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) I felt very happy at the news.
()
- (2) I showed some of my friends my new model plane.
()
- (3) Will you tell me the way to the post office?
()

3 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

- (1) 親切なカナダ人が毎日私たちに英語を教えてください。
(to, Canadian, teaches, kind, a, us, English) every day.
_____ every day.
- (2) 教室の中は寒くなっています。
(getting, in, classroom, the, is, it, cold).

- (3) 私にそれらの雑誌を見せてくれませんか。
(you, me, magazines, show, those, will)?

HELP



1 (1)(2) 動詞のかわりに **be** 動詞を入れてみて、意味が通れば **[S + V + C]**。

2 (1) felt は feel(～と感じる)の過去形。at ~ 「～を聞いて」 (2) model plane 「模型飛行機」

(3) post office 「郵便局」

3 (1) [～を] + to + [～に]の順に語を並べる。「カナダ人」 Canadian [kən'eɪdiən カネイディアン]

(2) 現在進行形の文。(3) Will you ~? の文にする。「雑誌」 magazine

定期テスト予想問題3

時間 20分
解答 → 別冊 p.14

得点	/ 100
----	-------

1 次の文の()内から正しい語句を選び、それぞれ日本語になおしなさい。
(21点=語句1点×6、訳3点×5)

- (1) (Are, Be, Do, Don't) kind to your friends.
()
- (2) There were (much, few, a little) stamps in the desk.
()
- (3) (Who, What, Which, How) beautiful flowers they are!
()
- (4) She showed interesting pictures (to, for, of) me.
()
- (5) He is (the, a, an) oldest (of, in) the four.
()

2 次の文を()内の語を使って、同じ意味になるように書きかえなさい。
(15点=3点×5)

- (1) Mother made her sister a doll. (for)

- (2) I am taller than Mike. (as)
Mike _____.
- (3) There are many schools in this town. (of)

- (4) Don't use this knife. (must)

- (5) She studies English very hard. (How)

3 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。
(20点=4点×5)

- (1) 私は今少し時間があります。
I have _____ time now.
- (2) 彼女は新しい服を着てとてもかわいらしく見えました。
She _____ very _____ in her new dress.
- (3) クラスで一番速く走る人はだれですか。
Who is _____ runner _____ your class?
- (4) その少年は友だちに、1つもりんごをあげませんでした。
The boy didn't give his friends _____.
- (5) 彼はなんて上手に英語を話すのでしょうか。
What _____ good English _____ he is!

4

次の文の____に、()内の語を適当な形にかえて入れなさい。

〈12点 = 3点 × 4〉

- (1) Haruko was the _____ girl in the world. (happy)
 (2) There _____ not a computer here two years ago. (be)
 (3) English is the _____ subject of all. (interesting)
 (4) He can play the piano very _____. (best)

5

日本語の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

〈20点 = 5点 × 4〉

- (1) ナンシーのお父さんはいつも忙しい。
 (always, father, busy, Nancy's, is).

- (2) 机の上には1本も鉛筆がありません。
 (no, on, desk, pencils, are, the, there).

- (3) 動物たちにそれを与えてはいけません。
 (it, give, the, to, don't, animals).

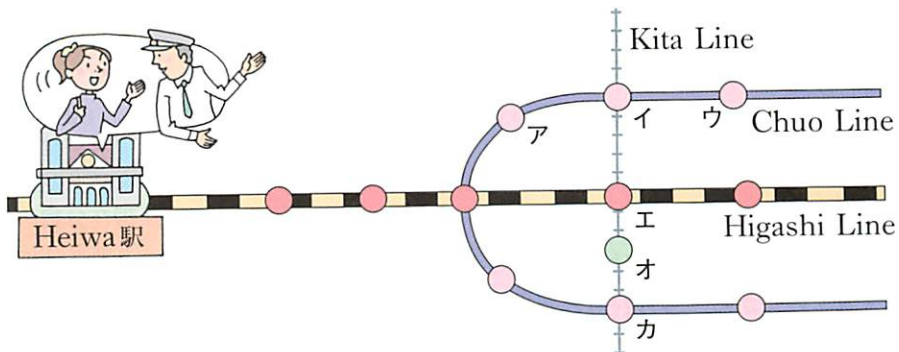
- (4) 私はシンガポールでの写真を何枚か友だちに見せました。
 (in, my, I, some, showed, pictures, Singapore, friends).

6

〈リスニング問題〉 16 Lisa は下の路線図の **Heiwa** 駅にいます。そこで、**Asahi** 駅への行き方を教えてもらいました。その英文を聞き、(1)と(2)の質問に答えなさい。

〈12点 = 6点 × 2〉

- (1) Asahi 駅はア~カのどれでしょうか。 Asahi 駅の場所 ()
- (2) 教えてもらった2通りの行き方は、何分ちがいますか。その差を数字で答えなさい。
 2通りの行き方の時間差 () 分



わかるゼミ4

現在完了ってなに？

「べんとうを忘れた」は過去？

日本語では、過去を表すのに「た」をつける。たとえば「朝、べんとうを持ってくるのを忘れた」は過去のことを表す文だ。

ところが、昼前からおなかがすいてきて、今[現在]はクラーイ気分。これは「忘れた」という過去のことが今[現在]まで続いているためだ。

だから、日本語の「た」は、「べんとうを忘れたことが腹立たい」というように、「忘れた」という状態が今も続いていることを表したりする。

このように過去のことが今[現在]につながっている場合、英語では過去形でも現在形でもなく、**現在完了形**で表すのだ。



日本語の「た」→英語になおすと

過去(動詞の過去形)
現在完了(現在完了形)

現在完了の大事な部品——過去分詞

現在完了は、「**have [has] + 動詞の過去分詞**」で表す。

過去分詞というのは動詞の変化形の1つで、作り方は過去形と同様に、規則動詞と不規則動詞でちがってくる。まずは次のページの「得点アップのコツ」を確認し、そのあとで1日も早く、教科書などについている不規則動詞の変化表を覚えてしまおう。

今[現在]とつなげて過去を見よう

それでは、英文で現在完了の意味を調べてみよう。

I **wrote** to Tom. (私はトムに手紙を書いた)

↳ write の過去形

これは過去の文だね。この文を現在完了の文にしてみよう。

I **have written** to Tom.

have + 過去分詞

上で説明したように、現在完了は、過去のことが今[現在]まで続いていることを表すのだから、**今[現在]**と過去の動作とがどのように**つながっているか**を考えてみることにしよう。

もっとくわしく

現在完了では過去分詞を使うが、これで動詞の形の変化はすべて出そろったことになる。**動詞の形の変化**をまとめておこう。

- ① **原形・現在形**…be 動詞以外は、原形と現在形は同じ(現在形では3単現のsのつく形もある)。
- ② **過去形**…大部分の動詞は語尾にedをつけた形(規則動詞)だが、そうでないもの(不規則動詞)もある。
- ③ **過去分詞**…大部分の動詞は過去形と同じ形。
- ④ **現在分詞**…進行形に使う動詞のing形のこと。このうち、①～③の3つの形の変化を、**動詞の活用**と言う。

まず「手紙を書いた」という動作が、今[現在]ちょうど終わった場合、つまり動作が完了した場合だ。こういう場合、日本語では「(ちょうど)~したところだ」という意味になる。

必修
文例

I **have just written** to Tom.
(私はちょうどトムに手紙を書いたところだ)

←① 完了

この文は have と written の間に just(ちょうど)という副詞が入っているが、副詞がこのようにわりこむこともあるのだ。

次に、書いた手紙をなくして、その結果、今[現在]まだ見つからない場合。見つければ、手紙をなくしたことは過去のことになるが、見つからないので、今[現在]も手紙はない状態だ。つまり、過去の動作の結果が今[現在]に残っているのだ。日本語では「~してしまった(その結果、今は…)」と言う。

必修
文例

I **have lost** a letter for Tom.
lose(失う)の過去分詞
(私はトムへの手紙をなくしてしまった(その結果、今もない))

←② 結果

さらに、「1度、彼に手紙を書いたことがある」というように、今[現在]までに経験したことを表す場合だ。この場合、ふつう日本語では「~したことがある」と言うだろう。

必修
文例

I **have written** to Tom *once*.
「1度」(副詞)
(私は1度、トムに手紙を書いたことがある)

←③ 経験

動詞によって意味も決まる

さて、これまでは「手紙を書いた」とか「手紙をなくした」といった、その時その時の動作についての現在完了の意味を調べてきたが、英語の動詞には **be**(である、いる)、**live**(住んでいる)、**stay**(滞在している)、**like**(好きだ)、**want**(ほしい)、**know**(知っている)のように、動作や状態が続いている意味を持つものがある。

このような継続(続いていること)の意味を持つ動詞を現在完了形に使うと、過去からの動作や状態が今[現在]までずっと続いていることを表す。日本語で表すと「(ずっと)~している」という意味になるのだ。

必修
文例

I **have been** here *for an hour*.
beの過去分詞
(私は1時間(ずっと)ここにいる)

←④ 継続

現在完了には、以上の①~④の用法(意味)がある。さあ、次のページから本格的に勉強していこう!

得点アップのコツ

過去分詞の覚え方

- ・規則動詞…過去形と同じく ed をつけるだけでよいので簡単だ。ed のつけ方は p.30 で確認しておこう。
- ・不規則動詞…1語1語異なった変化をするが、A—A—A、A—B—A、A—B—B、A—B—C のように変化のパターンがあるので、仕分けしてゴロよく覚えるとよい。

原形 (現在形)	過去形	過去分詞
A—A—A型		
put	put	put
A—B—A型		
become	became	become
come	came	come
A—B—B型		
buy	bought	bought
hear	heard	heard
keep	kept	kept
meet	met	met
A—B—C型		
begin	began	begun
do	did	done
go	went	gone
know	knew	known

ここに注意

現在完了の文では be 動詞も大切だ。すでに見てきたように、現在形や過去形をふくめると少し複雑に変化するの、確認もかねて、一般動詞とは別にその変化を追ってみよう。

be 動詞の活用

原形…be

現在形…am, is, are

過去形…was, were

過去分詞…been

13

現在完了
(継続・経験)

問題にチャレンジ

1 Mike **has been** in the room all day.

(all day は「1日中」という意味の副詞句)

2 How long **have** you **lived** here?

あなたはどのくらいここに住んでいますか。

3 I **have been to** America once.

(once は「1度」という意味の副詞)

問 日本語になおせ。 → 2

問 「2年間です」と英語で答えよ。 → 2

問 日本語になおせ。 → 3

1 現在完了形の作り方

現在完了は「**have + 過去分詞**」の形で表す。主語が3人称単数のときは have のかわりに **has** を使う。この形1つで「継続」「経験」「完了」「結果」のすべてを表すことができる。覚えるのが1つの形なので簡単そうに見えるが、逆にどの用法の文かわかり分けよう。

ポイント

「**has** は主語が3人称単数のとき使う
現在完了形は「**have [has] + 過去分詞**」

↳ 不規則動詞の過去分詞に注意

2 「継続」を表す現在完了

「継続」は続いていること、つまり過去に始まった動作や状態が今[現在]も続いていることを表し、「(ずっと)~している」と訳す。

She **has lived** in Canada for ten years.(彼女は10年間(ずっと)カナダに住んでいる)
↳ 今も住んでいる

She has lived in Canada for ten years.

動作・状態=住んでいる

継続

→ 今も住んでいる

10年前

5年前

▲ 今[現在]

「継続」を表す現在完了の文では、**for**(~間、~の間)、**since**(~から、~以来)、**How long**~?(どのくらい(の期間)~か)などの語句がよく使われる。

得点アップのコツ

現在完了の疑問文は **have [has]** を主語の前に出してつくる。

Have you ever **climbed** Mt. Fuji?

(あなたは今までに富士山に登ったことがありますか)

答えの文は、

Yes, I **have**. ...①

No, I **haven't**. ...②

↳ have not

のどちらかになる。この②の文からわかるように、**現在完了の否定文**は、have [has]のあとに **not** を入れてつくる。

He **has not seen** his brother for ten years.

(彼は兄[弟]に10年間会っていません)



I **haven't seen** her for a long time.

(私は長い間(ずっと)彼女に会っていません)

How long **have** you **lived** in Canada?

(あなたはどのくらい(の期間ずっと)カナダに住んでいますか)



現在完了の「継続」→「(ずっと)~している」

→ **for ~, since ~, How long ~?** などに注意

1の答→ マイクは1日中(ずっと)その部屋にいます。→動詞 **be** (過去分詞は **been**) は、「である」「いる」の意味。

2の答→ I have lived here for two years. (私はここに2年間住んでいます)

3 「経験」を表す現在完了

「経験」とはその名の通り「~したことがある」と、今[現在]までの経験を表す。

I **have visited** Canada four times.

(私は4回カナダを訪れたことがある)

I visited Canada.

I have visited Canada four times.

動作=訪れる

「~したことがある」

過去

今[現在]

once (1度), **twice** (2度), **~ times** (~回)などの回数を表す語句、「1度も~ない」と否定する **never**, 「今までに」とたずねるときの **ever** などが、「経験」を表す現在完了の文にはよく使われる。

Have you ever seen the bird?

(あなたは今までにその鳥を見たことがありますか)

Tom **has never read** this book.

(トムは1度もこの本を読んだことがない)



現在完了の「経験」→「~したことがある」

→ **once, twice, ~ times, ever, never**
が「経験」のめじるし

問題③で使われている **have been to ~** は「経験」を表す言い方で「~へ行ったことがある」という意味を表す。to ~ が「~へ」と目的地を表している。「継続」の **have been in ~** と区別しておこう。

3の答→ 私は1度アメリカへ行ったことがある。

得点アップのコツ

How long ~? には **for** や **since** で答える。

How long have you watched TV?

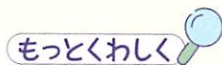
(あなたはどれくらいテレビを見ていますか)

I have watched TV **for 2 hours**.

(2時間です) **【期間】**

I have watched TV **since 5 o'clock**.

(5時からです) **【起点】**



経験の度数・回数をたずねるときは、

How often ~?

How many times ~?

を使う。どちらも「何度~か」という意味だ。

How often have you climbed Mt. Fuji?

(あなたは何回富士山に登ったことがありますか)

— Ten times.

(10回です)



2つの **have been** を使った表現を区別しておこう。

have been in ~

((ずっと)~にいる) **【継続】**

have been to ~ (~へ行ったことがある) **【経験】**

また、**have been to ~** で「行ってきたところだ」という意味もある。

I have been to the library. **【完了】**

(図書館へ行ってきたところだ)
have been to ~ が経験なのか完了なのかは文脈によって判断すること。

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.15

① 例にならって、次の動詞の過去形と現在完了形を書きなさい。

例 write wrote / have written / has written

- (1) clean _____
- (2) go _____
- (3) read _____
- (4) get _____
- (5) come _____
- (6) finish _____
- (7) do _____
- (8) know _____

② 次の現在完了の文を、()内の語を使って完成しなさい。また、それぞれを日本語になおしなさい。

- (1) We _____ Chinese for three years.
(study)
()
- (2) He _____ a horse three times. (ride)
()
- (3) She _____ sick for a week. (be)
()
- (4) I _____ never _____ with a French man.
(talk)
()

③ 次の問いの文の答え方として正しいものを4つ選び、○で囲みなさい。

Have you ever been to Hong Kong?

(あなたは香港へ行ったことがありますか)

- ア Yes, I have.
- イ Yes, I've been there once.
- ウ Yes, I have Hong Kong.
- エ No, I have ever been there.
- オ No, I haven't.
- カ No, I have never been there.

HELP

① (1)(6)は規則動詞、それ以外は不規則動詞で、(2)(7)(8)は原形[現在形]・過去形・過去分詞がすべて異なる形。

② (1) study, (4) talk は規則動詞。
 (2) ride (乗る) — rode — ridden と活用する。
 horse 「馬」
 (1)(3)は「継続」で、(2)(4)は「経験」を表す現在完了になることに注意して日本語になおす。
 (4) French man 「フランス人の男性」

③ 「経験」をたずねる疑問文はよく使われるから、答え方もマスターしておこう。

ever (今までに) は、ふつう疑問文に使い、答えには使わない。

単語

Hong Kong [hóng kóng]
 kóng ハンッ カンッ]
 香港

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.15

1 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。ただし、各組とも不要な語句が1つずつあります。

- (1) 私は生まれたときからずっと北海道に住んでいます。
(lived, was, I, I, since, have, in, born, from, Hokkaido).
-
- (2) トムとジャックはどのくらい日本に住んでいますか。
(have, Tom, lived, in, how, when, and, long, Jack, Japan)?
-
- (3) 私はインドへ行ったことはありません。
(India, I've, to, ever, never, been).
-
- (4) 君は何度阿蘇山に登ったことがありますか。
(have, Mt. Aso, you, how, many, climbed, often)?
-

2 次の文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) They have waited for the bus. (疑問文に)

- (2) Mike has been in Japan for ten days. (下線部をたずねる文に)

- (3) I have seen whales. (「一度も見たことがない」という文に)

3 各組の文が同じ内容を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) { Yoshie came to this city last year and she is still in this city.
Yoshie _____ been in this city _____ last year.
- (2) { It got very cold yesterday and it is still very cold today.
It _____ very cold since yesterday.
- (3) { I got sick last Sunday and I am still sick now.
I _____ since last Sunday.
- (4) { They came to Kyoto two years ago and they are in Kyoto now.
They _____ in Kyoto _____.

HELP



- 1** (1)「生まれる」は be born。since はここでは接続詞で、あとに「主語＋動詞」が続く。
2 (1) wait for ～「～を待つ」(2) for ten days (10日間)は「期間」なので How long を使う。
(3) whale [(h)weil (フ)ウェイル]「くじら」
3 まず and よりあとの文を現在完了にして、now や still をとる。(1) still 「今でも」

14 現在完了 (完了・結果)



問題にチャレンジ

1 (just, I, have, room, the, cleaned).

私はちょうど部屋をそうじしたところです。

2 My sister hasn't cleaned her room yet.

(yet は「まだ」という意味の副詞)

3 (Canada, to, gone, has, Takashi).

貴志はカナダへ行ってしまった。

問 並べかえて日本語の意味を表す
英文にせよ。 → 1

問 日本語になおせ。 → 1

問 並べかえて日本語の意味を表す
英文にせよ。 → 2

1 「完了」を表す現在完了

今[現在], ある**動作が終わったこと**, つまり**完了したことを**表すが、現在完了の「完了」の用法だ。

① He **read** the book.

↳ 3単現のsがないので過去形
(彼はその本を読みました)

② He **has just read** the book.

↳ 過去分詞(過去形と同じ形)
(彼はその本をちょうど**読んだところ**です)

①は過去の文で、過去のいつか(きのうかもしれないし2年前かもしれない)に「読む」という動作をしたことを表している。

②の**現在完了の文**は、「読む」という動作が今終わった(完了した), という意味だ。読み終わったのは1分前か、5秒前かはわからない。とにかくちょうど今読み終わった(**完了**)わけだ。

ここで過去の文とのちがいを考えてみると、完了形の文は、ただ「読み終わった」という意味だけではなく、完了したあとの現在の状態、たとえば「**現在、その本の内容を思い起こして感動している**」など、なんらかの意味で**現在の状況**がそこにこめられているのだ。

①と②のちがいを図にしよう。ちがいがよくわかるはずだ。

① He read the book.

現在につがっていない
動作=読む

過去

② He has just read the book.

現在につがっている
動作=読む

今[現在]

ここに注意

この本では、わかりやすくするため、できるだけ短縮形は使わないが、現在完了形をつくる have, has はよく短縮されることがあるから注意しよう。

I have	→ I've
you have	→ you've
he has	→ he's
she has	→ she's
we have	→ we've
they have	→ they've



このように現在完了が「完了」を表すときは、「～したところだ」と訳すが、「完了」の意味をはっきりさせるため、**just** (ちょうど), **already** (すでに、もう) といった副詞がよく使われる。

必修文例

I **have just read** the book.

(私はちょうどその本を**読んだところだ**)

She **has already finished** her homework.

(彼女はもう宿題を**終わてしまった**(終えたところだ))

just や already は have [has] と過去分詞との間に入れる。また、already を使うときは「もう[すでに]～してしまった」と訳すほうが日本語らしくなる。

ポイント

現在完了の「完了」

{	↑ just で表す	「(ちょうど)～したところだ」
	↓ already で表す	「(もう)～してしまった」

→ **just, already, yet** が完了を表す。

①の答 → I **have just cleaned** the room. → 「ちょうど～したところです」を「have just + 過去分詞」で表す。

②の答 → 姉[妹]はまだ自分の部屋をきれいにしていません。→ yet の意味は、否定文では「まだ」、疑問文では「もう」になることに注意。

2 「結果」を表す現在完了

次の①は過去の文、②は現在完了の文だ。

- ① I **lost** my key. (私はかぎをなくした)
 ② I **have lost** my key. (私はかぎをなくしてしまった)

①は「かぎをなくした」と、ただ過去の事実を言っている。今[現在]もそのかぎがないのか、それとも見つかっているのかということまではわからない。②は「かぎをなくしてしまった(その結果、今もかぎがなく困っている)」というように、今[現在]どうなっているかを、かなりはっきり表す。つまり「かぎをなくした」という過去の動作の結果が今[現在]も残っていて、「今もかぎがない」「部屋に入れない」「困っている」という現在のことまでを表す。これが「結果」を表す現在完了だ。

「結果」を表す現在完了は、「～してしまった(その結果、今は…)」という意味だが、これは「完了」の「～してしまった」と同じような訳し方になる。だから、「完了」と「結果」はあまりはっきり区別しなくてもいいが、「結果」の表す意味は頭の中に入れておこう。

③の答 → Takashi **has gone to Canada**. → この文は、「貴志はカナダへ行ってしまった(その結果、今もカナダにいる)」という意味だ。have [has] **been to** ~ を使った Takashi has been to Canada. (貴志はカナダへ行ったことがある → もうカナダから戻ってきている) との意味のちがいに注意しよう。

ここに注意!

「完了」を表す現在完了では、疑問文と否定文では **already** は使わず、そのかわり **yet** を使い、文の終わりにつける。

Has Mari read the book **yet**?

(真理はもうその本を読んでは済ませましたか)

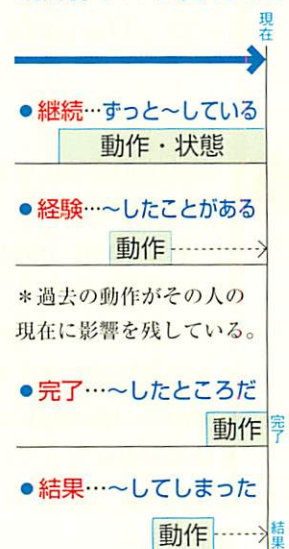
Mari hasn't read the book **yet**.

(真理はまだその本を読んでいない)

{	疑問文で「もう」
	否定文で「まだ」



(現在完了の4つの用法のまとめ)





① 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) I haven't finished my homework yet.
()
- (2) Have you finished your homework yet?
()
- (3) Yoko has already finished her homework.
()
- (4) Jack has just finished his homework.
()

② 次の文を疑問文とその答えの文、また否定文に書きかえるために、 に適当な1語を入れなさい。

- (1) I have just eaten breakfast.
〔疑問文〕 you just breakfast?
— Yes, I . / No, I .
〔否定文〕 I eaten breakfast.
- (2) She has found the button.
〔疑問文〕 she the button?
— Yes, she . / No, she .
〔否定文〕 She found the button.
- (3) The game has already begun.
〔疑問文〕 Has the game ?
— Yes, it . / No, it .
〔否定文〕 The game .

③ 日本文の意味になるように、次の文の()内から適当な語句を選びなさい。

- (1) He (is, have, has) started for school now.
彼は今学校へ出かけたところです。
- (2) The men have (go, went, gone) to Africa.
その男たちはアフリカへ行ってしまった。
- (3) I (don't, haven't, don't have) washed my car yet.
私はまだ車を洗っていない。
- (4) Keiko (is, have, has) never played tennis.
恵子はテニスをしたことがない。

HELP

① (1) homework 「宿題」

not ~ yet で「まだ～ない」の意味を表す。

(2)にも yet が使われているが、(1)とは意味が異なる。

② 現在完了の疑問文、否定文や答えの文では、**have [has]** が大活躍する。

have [has] not は1語の短縮形で答える。

(1)「私はちょうど朝食をとったところだ」(完了)

(2)「彼女はそのボタンを見つけた(その結果、今ボタンがある)」(結果)

(3)「試合はもう始まってしまった」(完了)

単語

button

[báttn バトゥン]

ボタン

③ (1)「完了」を表す現在完了の文では、**now** (今)という副詞も使われる。

(2)「アフリカへ行ってしまった(その結果、彼らは今アフリカにいる)」という意味で、「結果」を表す。

(4)主語の Keiko は3人称単数。